

# Kodak alaris

## Kodak E1030/E1040 シリーズスキャナー

TWAIN スキャンセットアップガイド





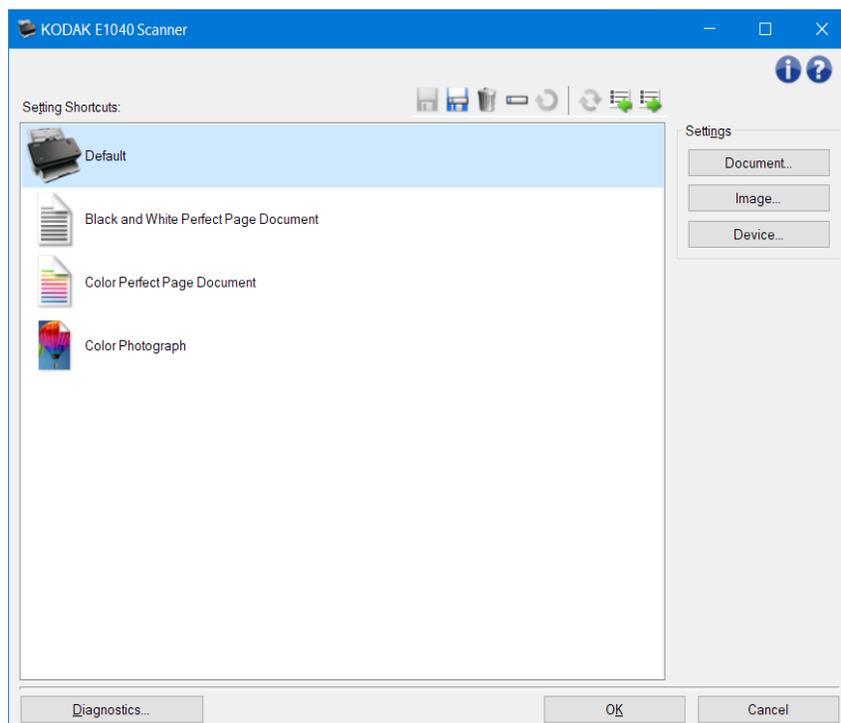
# 目次

目次	
設定方法.....	4
製品の概要.....	5
スキャンシステム.....	5
イメージ出力の定義.....	6
デバイス設定の定義.....	7
スキャナーメインウィンドウ.....	8
[名前をつけて保存] ウィンドウ.....	11
[名前の変更] ウィンドウ.....	12
[復元] ウィンドウ.....	13
[原稿設定] ウィンドウ.....	14
原稿 - [一般] タブ.....	15
原稿 - [イメージ] タブ.....	16
原稿 - [原稿内容の設定] タブ.....	18
[イメージ設定] ウィンドウ.....	20
イメージ - [一般] タブ.....	23
イメージ - [サイズ] タブ.....	25
イメージ - [調整] タブ - 白黒.....	28
イメージ - [調整] タブ - カラー/グレースケール.....	30
イメージ - [強化] タブ.....	33
イメージ - [検出] タブ.....	36
[デバイス設定] ウィンドウ.....	38
デバイス - [一般] タブ.....	39
デバイス - [トランスポート] タブ.....	41
デバイス - [重送検知] タブ.....	42
[診断] ウィンドウ.....	44
診断 - [一般] タブ.....	45
診断 - [デバッグ] タブ.....	46
診断 - [ログ] タブ.....	48
設定のショートカットの新規作成.....	50
イメージ設定の変更.....	51
デバイス設定の変更.....	52
原稿の内容に基づくカラー/グレースケールまたは白黒イメージの作成.....	53
原稿の各面に対する複数イメージの作成.....	55
原稿の各面に対する異なる設定の作成.....	57

オンライン技術サポート.....	58
問題解決.....	59
カラーの自動検知.....	61
白黒イメージ.....	62
カラーイメージ.....	63
圧縮.....	64
クロッピング.....	65
デュアルストリーム出力.....	66
グレースケールイメージ.....	67
イメージ処理.....	68
<b>JPEG</b> .....	<b>69</b>
重送.....	70
シングルストリーム.....	71
<b>TIFF</b> .....	<b>72</b>

## 設定方法

最終的な目的は、できるだけ簡単にスキャン処理を実行することにあります。これは、[スキャナーメインウィンドウ](#)から[設定のショートカット](#)を選択し、**[OK]/[スキャン]**を選択して実行できます。



このスキャナーでは既にいくつかの[設定のショートカット](#)が定義されています。ほとんどの場合、これらのショートカットで必要なすべての作業を実行できます。他の設定が必要になった場合は、「[新しい設定のショートカットの作成](#)」を参照してください。作成したカスタムショートカットは[設定のショートカット](#)のリストに追加され、これ以降のすべてのスキャンに使用できます。

## 製品の概要

弊社のスキャナーは、さまざまな電子イメージを出力することができます。これは、お使いのスキャナーアプリケーションに接続されている TWAIN ドライバ/データソースを使用して実行できます。

TWAIN ドライバ/データソースはお使いのスキャナーアプリケーションにスキャナーをリンクさせるスキャンシステムの一部です。

TWAIN ドライバ/データソースを使用する際は、[スキャナーメインウィンドウ](#)で設定のショートカットが一覧表示されます。それぞれの設定のショートカットは特定のイメージとデバイス設定のグループです。設定のショートカットには、さまざまな原稿に対応する、一連の出力設定が定義されています。いずれの設定のショートカットも希望に満たない場合は、[カスタマイズした設定のショートカットを作成](#)できます。たとえば、「請求書」という名前の設定のショートカットを作成し、請求書のスキャンする場合は、その設定のショートカットを選択するだけでスキャンできます。詳細については、[イメージ出力の定義](#)または[デバイス設定の定義](#)を参照してください。

### スキャンシステム

- **スキャンアプリケーション** - イメージのスキャンを制御するソフトウェアです。スキャンアプリケーションは、原稿を電子イメージに変換したり、TWAIN ドライバ/データソースにアクセスしたりする場合に使用します。スキャンアプリケーションの詳細は、お使いのアプリケーションのマニュアルを参照してください。
- **TWAIN ドライバ/データソース** - このヘルプファイルはお使いのスキャナーに付属している TWAIN ドライバ/データソースのユーザーインターフェイスの使い方について説明します。スキャナーのユーザーインターフェイスには多くの[イメージ処理](#)機能があり、さまざまなニーズを満たす最高のイメージの生成をサポートします。TWAIN ドライバ/データソースは、TWAIN Working Group の規格に準拠しています。詳細については、<http://www.twain.org> を参照してください。スキャナーのプログラム機能の詳細については、スキャナーに付属の CD の Integrators フォルダを参照してください。
- **スキャナー** - イメージングスキャンデバイスです。スキャナーの操作およびメンテナンスに関する詳細は、スキャナーに付属の『ユーザーガイド』を参照してください。

## イメージ出力の定義

ほとんどの方は、コピー機を使って原稿をコピーしたことがあるでしょう。コピーするには、原稿を持ってコピー機の所まで移動し、入力トレイに原稿をセットして、コピー部数や他の設定（両面、カラー、ページ順、綴じなど）を行います。その結果、設定した内容のコピーが得られます。スキャナーでの作業も同様ですが、物理的なコピーの代わりに電子的なイメージが作成されます。この場合も、コピー機と同じように、どのような出力結果を希望するのかをスキャナーに指示する必要があります。

このスキャナーでは、[白黒](#)、[カラー](#)および[グレースケール](#)のイメージを生成することができます。また、片面あたり1イメージのコピー（[シングルストリーム](#)）または片面あたり2イメージのコピー（[デュアルストリーム](#)）を作成することができます。

既存の**設定のショートカット**を選択したり、**設定のショートカット**をカスタマイズする場合は、以下の事項を検討してください：

- 書類は片面か、または両面か。（[スキャナーメインウィンドウ](#)の**[入力原稿のタイプ]**オプションを参照）
- 原稿は、カラー、グレースケール、白黒、またはそれらが混在しているかどうか。（[イメージ - \[一般\] タブ](#)の**[スキャン形式]**オプションを参照）
- 原稿は写真か、文字か、または両方が混在しているかどうか。（[イメージ - \[一般\] タブ](#)の**[原稿タイプ]**オプションを参照）
- 原稿全体をスキャンするのか、または一部のみをスキャンするのか。（[イメージ - \[サイズ\] タブ](#)を参照）
- 必要な場合のみカラーで出力するかどうか。（[\[詳細\] タブ](#)の**[読取り面あたりのイメージ数]**オプションを参照）
- 白紙ページもそのまま保持するかどうか。（[イメージ - \[検出\] タブ](#)の**[白紙ページ検出]**オプションを参照）
- 原稿に記載されている情報は横向きか、または縦向きか。（[イメージ - \[サイズ\] タブ](#)の**[スキャン後に回転]**オプションを参照）
- スキャンする原稿の形式を電子イメージから削除するか。（[イメージ - \[強化\] タブ](#)の**[カラードロップアウト]**オプションを参照）

## デバイス設定の定義

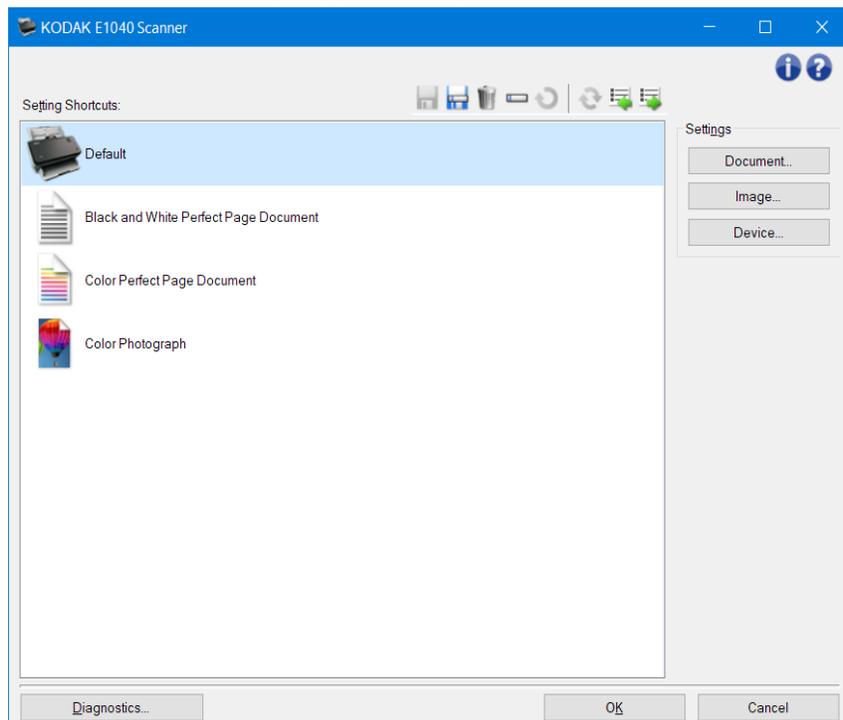
スキャナーを使用する場合、様々なスキャナー特有のオプションをどのように設定するかを決める必要があります。これらのオプションを利用することにより、日常業務時やエラー発生時のスキャナーの動作をきめ細かく設定し、スキャン作業を円滑に実行することができます。これらのオプションは [\[デバイス設定\] ウィンドウ](#) にあり、[\[イメージ設定\] ウィンドウ](#) からアクセスできます。

既存の [設定のショートカット](#) を選択したり、[設定のショートカット](#) をカスタマイズしたりする場合は、以下の事項を検討してください。

- フラットベッドからスキャンしますか？（[\[デバイス - \[一般\] タブ\]](#) の [\[スキャン方法\]](#) オプションを参照）
- 省電力モードを調節しますか？（[\[デバイス - \[一般\] タブ\]](#) の [\[省電力\]](#) オプションを参照）
- 複数の原稿が同時にスキャンされた場合（重送）、その旨を通知しますか？（[\[デバイス - \[重送\] タブ\]](#) を参照）

## スキャナーメインウィンドウ

スキャナーメインウィンドウは、スキャナーのユーザーインターフェイスのホームウィンドウです。設定のショートカット、**[OK]/[スキャン]**の順に選択するだけでスキャンできます。



設定のショートカット - 設定のショートカットを一覧表示します。以下のショートカットが用意されています。

- デフォルト: スキャナーのデフォルト設定
- 白黒パーフェクトページドキュメント
- カラーパーフェクトページドキュメント
- カラー写真

注記:

- 設定のショートカットを変更してその変更を保存していない場合、設定のショートカットに **<changed>** というテキストが付き、名前が斜体で表示されます (例: \*デフォルト <changed>)。



## [ツールバー] ボタン



**保存** - 選択した設定のショートカットに対して行った変更を保存します。



**名前を付けて保存** - [\[名前を付けて保存\]](#) ウィンドウが表示され、現在の設定を新しい設定のショートカットとして保存します。



**削除** - 選択した設定のショートカットを削除します。この場合、確認を求めるメッセージが表示されます。

 **名前の変更** - [\[名前の変更\] ウィンドウ](#)が表示され、*設定のショートカット*の名前を変更できます。

 **リセット** - 選択した*設定のショートカット*への変更で保存していない変更（名前が斜体で **<changed>** が付いている）を元に戻すことができます。

 **復元** - [\[復元\] ウィンドウ](#)が表示され、スキャナーに付属のショートカットに対して行った変更を元に戻すことができます。これは、1つ以上の付属のショートカットが変更または削除されている場合にのみ利用できます。

 **インポート** - 現在のショートカットをすべて置き換えて、*設定のショートカット*のセットをインポートします。このオプションを選択すると、オペレーティングシステムの **[ファイルを開く]** ウィンドウが表示され、インポートするショートカットセットを選択できるようになります。

 **エクスポート** - 現在の *設定のショートカット* をすべて、ショートカットセットにエクスポートします。このオプションを選択すると、オペレーティングシステムの **[ファイルの保存]** ウィンドウが表示され、ショートカットセットのフォルダおよびファイル名を選択できます。

#### 注記:

- **削除、名前の変更、復元、インポート、およびエクスポート**は、選択した *設定のショートカット* が変更されている（名前が斜体で **<changed>** が付いている）場合には使用できません。
- マウスを使って *設定のショートカット* の順番を並べ替えることができます。並べ替えるには、移動させる *設定のショートカット* にマウスのカーソルを合わせ、マウスの左ボタンを押したまま *設定のショートカット* を目的の場所に移動させ、マウスの左ボタンを放します。
- *設定のショートカット* を別の PC に転送する場合：転送したいショートカットがある PC で **[エクスポート]** を選択し、別の PC で **[インポート]** を選択します。
- 既存のショートカットセットに *設定のショートカット* を追加する場合：1) **[インポート]** を選択してショートカットセットをロードします。2) 新しい *設定のショートカット* を作成します。3) **[エクスポート]** を選択してショートカットセットを置き換え、同じ名前を使用して保存します。
- *設定のショートカット* を右クリックすると、そのショートカットに対して使用可能な項目のリストが表示されます。

**設定** - これにより、現在選択されているショートカットの設定を変更できます。

- **原稿** - [\[原稿設定\] ウィンドウ](#)を表示します。
- **イメージ** - [\[イメージ設定\] ウィンドウ](#)を表示します。
- **デバイス** - [\[デバイス設定\] ウィンドウ](#)を表示します。

**診断** - [\[診断\] ウィンドウ](#)を表示します。

**OK/スキャン** - このオプションを選択すると、保存されていない変更を保存するように促すメッセージが表示されます。

注記：このボタンが **[OK]** の場合、保存されていない変更は現在のスキャンセッションに対して引き続き有効です。

**キャンセル** - 変更内容を保存せずに、スキャナーメインウィンドウを閉じます。

#### 情報アイコン



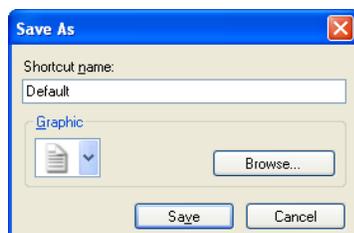
**バージョン情報**: スキャナーのバージョンと著作権情報を表示します。



**ヘルプ:** 現在表示されているウィンドウのヘルプ情報を表示します。

## [名前をつけて保存] ウィンドウ

設定のショートカットを変更して別のショートカットとして保存する場合、[スキャナーメインウィンドウ](#)で **[名前をつけて保存]** を選択します。



**ショートカット名** - 新規のショートカットの名前を入力します。

注記: 現在のショートカット名が表示されます。

**グラフィック** - ショートカットがスキャナーメインウィンドウの *設定のショートカット* に表示される場合、そのショートカットに関連付けるグラフィックを選択します。

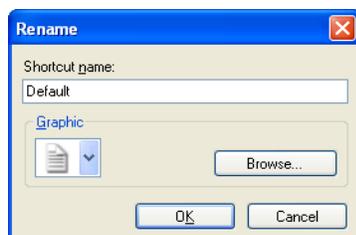
- **参照** - オペレーティングシステムの **[ファイルを開く]** ウィンドウが表示され、使用するカスタムグラフィックを検索できます。

**保存** - 新しい *設定のショートカット* を保存します。つまり、別の名前を入力するよう指示されます。

**キャンセル** - 新規のショートカットを作成せずに、**[名前をつけて保存]** ウィンドウを閉じます。

## [名前の変更] ウィンドウ

作成した設定のショートカットの名前を変更する場合は、[スキャナーメインウィンドウ](#)で **[名前の変更]** を選択します。



**ショートカット名** - ショートカットの新しい名前を入力します。

注記: 現在のショートカット名が表示されます。

**グラフィック** - ショートカットがスキャナーメインウィンドウの設定のショートカットに表示される場合、そのショートカットに関連付けられたグラフィックを変更します。

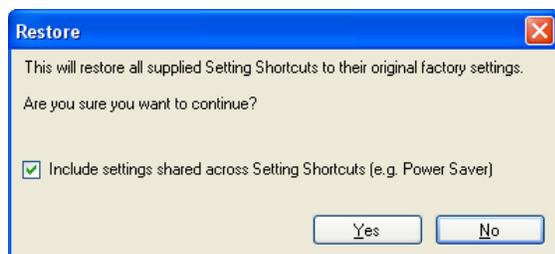
- **参照** - オペレーティングシステムの [ファイルを開く] ウィンドウが表示され、使用するカスタムグラフィックを検索できます。

**OK** - 設定のショートカットを新しい名前で作成します。つまり、別の名前を入力するよう指示されます。

**キャンセル** - ショートカット名を変更せずに [名前の変更] ウィンドウを閉じます。

## [復元] ウィンドウ

スキャナーに付属のすべての設定のショートカットを元の設定に復元する場合、[スキャナーメインウィンドウ](#)の **[復元]** を選択します。



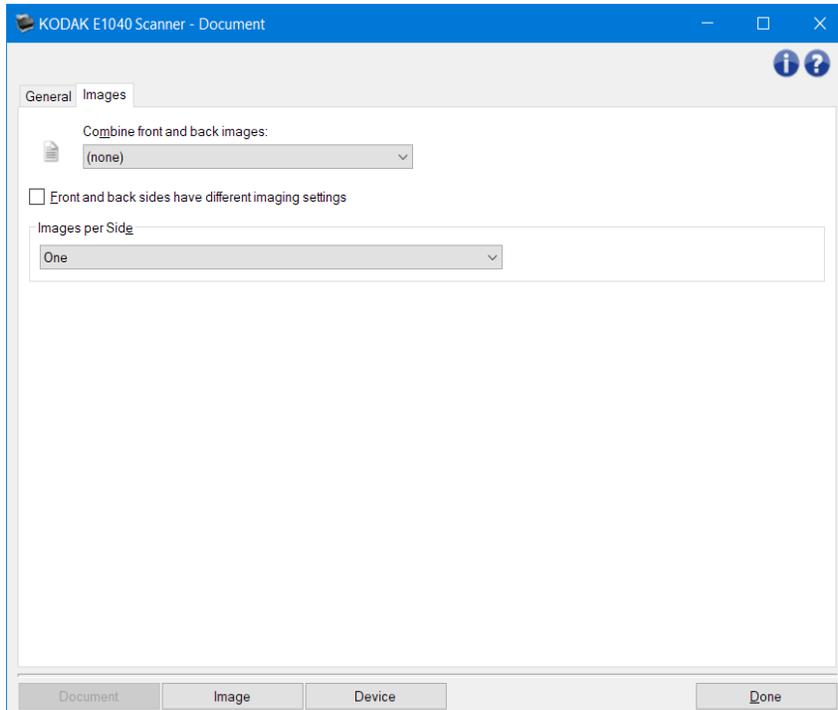
**設定のショートカット全体で共有される設定を含める** - このオプションを選択すると、設定のショートカット全体で共有されているオプションの元の設定も復元されます。これには、**[省電力]** や **[ドキュメントフィーダ]** などのオプションが含まれます。

**はい** - すべての設定のショートカットを元の設定に復元します。

**いいえ** - ショートカットを変更せずに、**[復元]** ウィンドウを閉じます。

## [原稿設定] ウィンドウ

このウィンドウから、利用可能なタブを使用してスキャンする原稿を定義できます。[原稿設定] に使用される値は、選択された設定のショートカットに保存されます。[原稿設定] ウィンドウには、次のタブが含まれます: [\[一般\]](#)、[\[イメージ\]](#)、[\[原稿内容の設定\]](#)。



イメージ - [\[イメージ設定\] ウィンドウ](#)を表示します。

デバイス - [\[デバイス設定\] ウィンドウ](#)を表示します。

完了 - [スキャナーメインウィンドウ](#)に戻ります。

### 情報アイコン



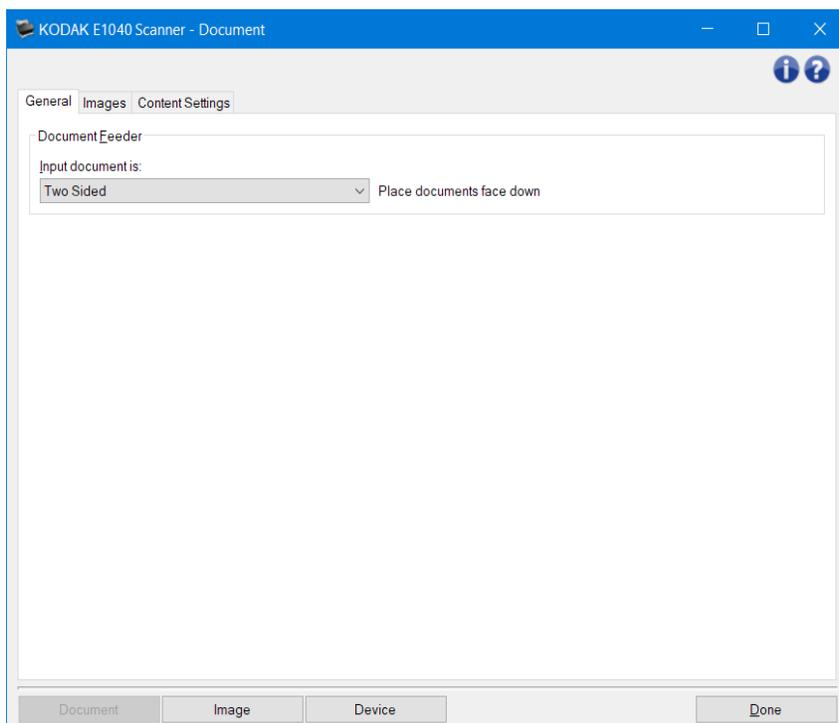
**バージョン情報:** スキャナーのバージョンと著作権情報を表示します。



**ヘルプ:** 現在表示されているウィンドウのヘルプ情報を表示します。

## 原稿 - [一般] タブ

[一般] タブでは、より複雑な設定を定義して、スキャナーでこれを検知させることができます。



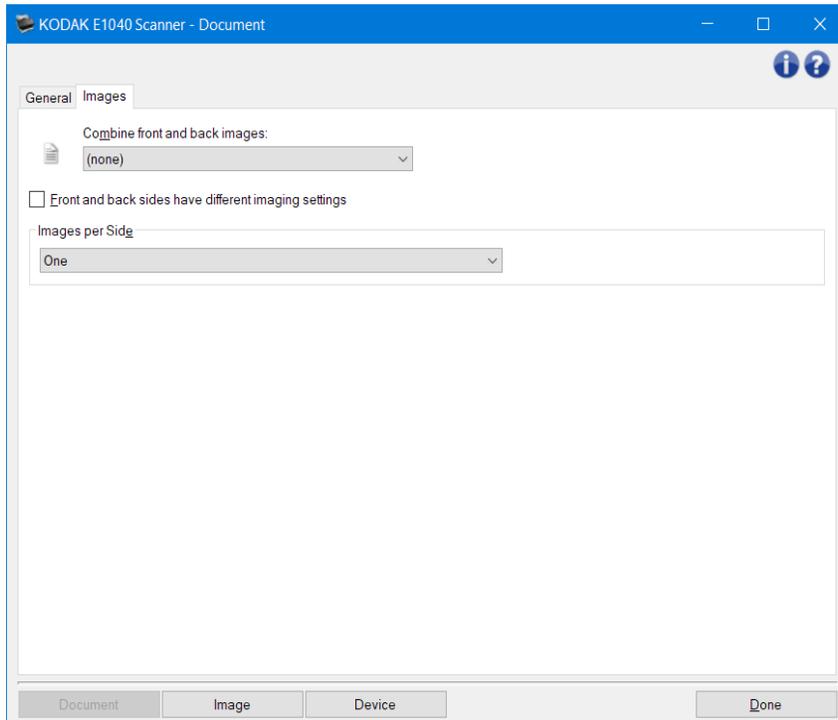
ドキュメントフィーダ - 入力トレイからスキャナーに給紙されるページを選択できます。

- 入力原稿のタイプ - 原稿のどちらの面の電子イメージの情報を出力するかを選択できます。
- **両面**: 原稿の両面をスキャンします。
- **片面 - 表**: 原稿の表面のみスキャンします。
- **片面 - 裏**: 原稿の裏面のみスキャンします。

注記: 共通のボタンやオプションについては、[\[原稿設定\] ウィンドウ](#)を参照してください。

## 原稿 - [イメージ] タブ

[イメージ] タブでは、スキャナーで作成するイメージ用に、より複雑な設定を定義できます。



**表面と裏面のイメージを組み合わせる** - 主に、表面と裏面のそれぞれに一つずつ別のイメージを作成する書類のために使用されます。このオプションを有効にすると、原稿の表面と裏面を1つのイメージに結合します。オプションは以下のとおりです。

- **表面を上:** 表面イメージが裏面イメージの上になります。
- **表面を下:** 裏面イメージが表面イメージの上になります。
- **表面を左:** 表面イメージが裏面イメージの左になります。
- **表面を右:** 裏面イメージが表面イメージの左になります。

注記:

- このオプションは両面スキャナーモデルのみ使用できます。
- このオプションを使用できるのは、**[入力ドキュメントのタイプ]** が **[両面]** に設定されている場合、**[読取り面ごとに設定を変更]** が選択されていない場合、**[読取り面あたりのイメージ数]** が **[1]** に設定されている場合、また、スキャンが **ドキュメントフィーダ** から実行された場合に限られます。
- このオプションはプレビューイメージには適用されません。

**表面と裏面で異なるイメージング設定を使用** - デフォルトでは、TWAIN ドライバ/データソースで選択した設定内容が両面のイメージに適用されます。スキャン原稿の各面に異なるイメージ処理設定を適用する場合に、このオプションを選択します。たとえば、表面をカラー、裏面を白黒にする場合は、まず **[入力ドキュメントのタイプ]** の **[両面]** オプションを選択し (**[一般] タブ**)、次に **[表面と裏面で異なるイメージング設定を使用]** を有効にします。

この操作を行うと、**[イメージ設定] ウィンドウ** にある **[読取り面]** オプションが有効になり、読取り面ごとに異なる設定を選択することができます。**[読取り面ごとに設定を変更]** を有効にしているため、

最初の選択内容はスキャン対象ドキュメントの表面にのみ適用されます。表面に関するオプションを選択し終わったら、[\[読取り面\]](#) オプションで裏面を選択し、裏面に適用するオプションを設定します。  
 注記: [\[表面と裏面で異なるイメージング設定を使用\]](#) オプションは、両面スキャナーモデルでのみ利用可能です。

**読取り面あたりのイメージ数** - イメージ処理する選択項目に基づいて、読取り面あたりに作成するイメージの数を示します。

- **1:** 1つのイメージが作成されることを示します。
- **1 - 自動カラー検知:** カラー/グレースケールまたは白黒のスキャン方法を原稿から自動的に検知します。

注記: このオプションはプレビューイメージには適用されません。

- **複数:** 複数イメージが作成されることを示します。

注記: [\[読取り面あたりのイメージ数\]](#) オプションで **[1 - 自動カラー検知]** を選択すると、[\[書類の設定\]](#) タブが表示されます。

**設定するイメージ** - 設定が必要な電子イメージを示します。

注記: [\[読取り面あたりのイメージ数\]](#) オプションで **[1]** 以外の項目を選択している場合にのみ、このオプションを使用できます。

詳細オプションの設定方法については、これらの例を参照してください。

[原稿の内容に基づくカラー/グレースケールまたは白黒イメージの作成](#)

[原稿の各面に対する複数イメージの作成](#)

[原稿の各面に対する異なる設定の作成](#)

スキャナーからスキャンアプリケーションにイメージを送る順番は、上矢印と下矢印で変更します。

[ツールバー] ボタン



**追加:** 設定リストの一番下にイメージの種類を追加します。



**変更:** 現在選択されているイメージの種類を変更します。

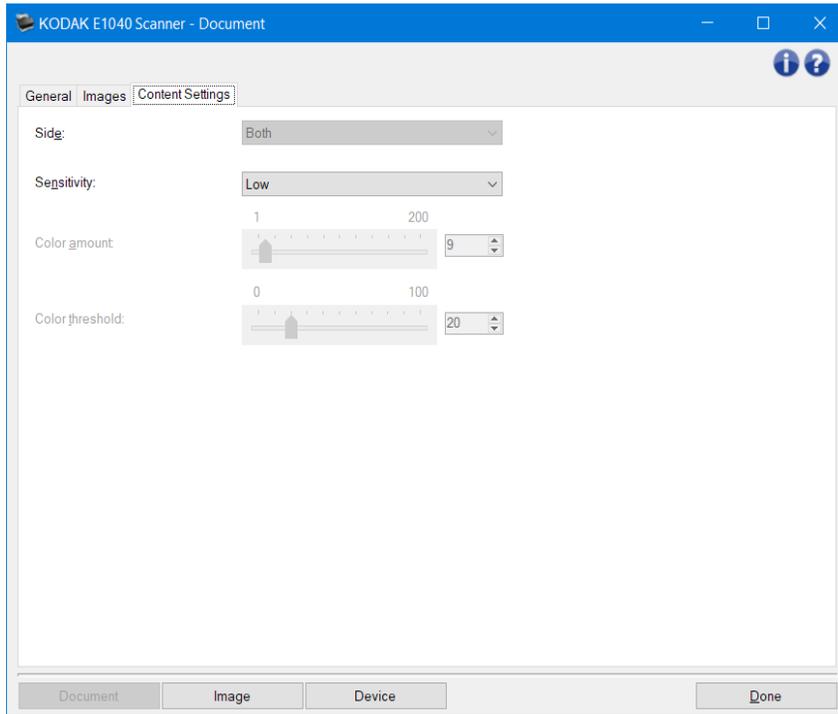


**削除:** 選択したイメージの種類を削除します。

注記: 共通のボタンやオプションについては、[\[原稿設定\] ウィンドウ](#)を参照してください。

## 原稿 - [原稿内容の設定] タブ

[原稿内容の設定] タブのオプションは、片面または両面ジョブに使用することができます。

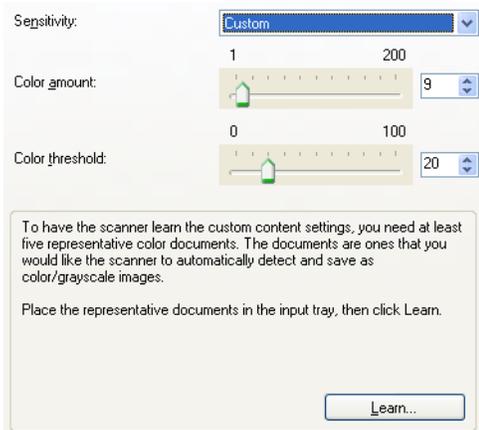


**読取り面 - [感度]** の設定を適用する面を決定します。このオプションは、[詳細] タブで **[読取り面ごとに設定を変更]** が選択されている場合のみ利用できます。

### 感度

- **[低]**: スキャンする原稿の色の量が少ない場合にカラー/グレースケールイメージで保存します。黒い文字と小さなロゴが主体の原稿や、ハイライトされた文字や写真の色が少ない原稿をスキャンする場合に適します。
- **[中]**: [低] オプションよりも色の割合が多い原稿の場合にカラー/グレースケールイメージで保存します。
- **[高]**: [中] オプションよりも、色の割合が多い場合にカラー/グレースケールイメージで保存します。中～大サイズのカラー写真などを多用している原稿に適します。中間色を含む写真を正しくスキャンするには、**[カラーズレッシュョルド]** や **[色量]** 値の調整が必要になる場合があります。
- **カスタム**: 手動で **[色量]** や **[カラーズレッシュョルド]** の値を調整することができます。

注記: **[感度]** の値を設定する場合は、まず **[中]** オプションを選択して、通常のジョブ設定でスキャンすることをお勧めします。白黒と比較して原稿の大半がカラー/グレースケールとして返された場合は、**[高]** オプションに変更してから、もう一度ジョブを実行してください。白黒と比較してカラー/グレースケールとして返された原稿が少なすぎる場合は、**[低]** オプションに変更してから、もう一度ジョブを実行してください。以上のオプションで満足のない結果が得られなかった場合は、**[カスタム]** を選択し、手動で **[色量]** や **[カラーズレッシュョルド]** を調整してください。**[カスタム]** を選択した場合、**[自動設定]** モードを使ってスキャナーに原稿を分析させ、推奨の設定値を算出できます。



**色量** - 原稿をカラー/グレースケールで保存する際に、原稿に最低限必要なカラーの量です。**[色量]**の値を増やすと、必要なカラーピクセルの量も増加します。これらのオプションの範囲は、**1** から **200** です。

注記: このオプションは、**[感度: カスタム]**でのみ利用できます。

**カラーズレッシュョルド** - 色量の算出時に特定の色を含めるための色のしきい値または彩度（薄青と紺色の対比など）。値を増やすと、必要となる彩度が高くなります。これらのオプションの範囲は、**0** から **100** です。

注記: このオプションは、**[感度: カスタム]**でのみ利用できます。

**自動設定** - スキャンしたサンプルのカラードキュメントに基づいて設定値を算出します。**[自動設定]**を選択する前に、入力トレイに**5**枚以上のサンプルのカラードキュメントをセットしてください。これらの原稿をスキャン、分析して推奨される**[色量]**を決定します。

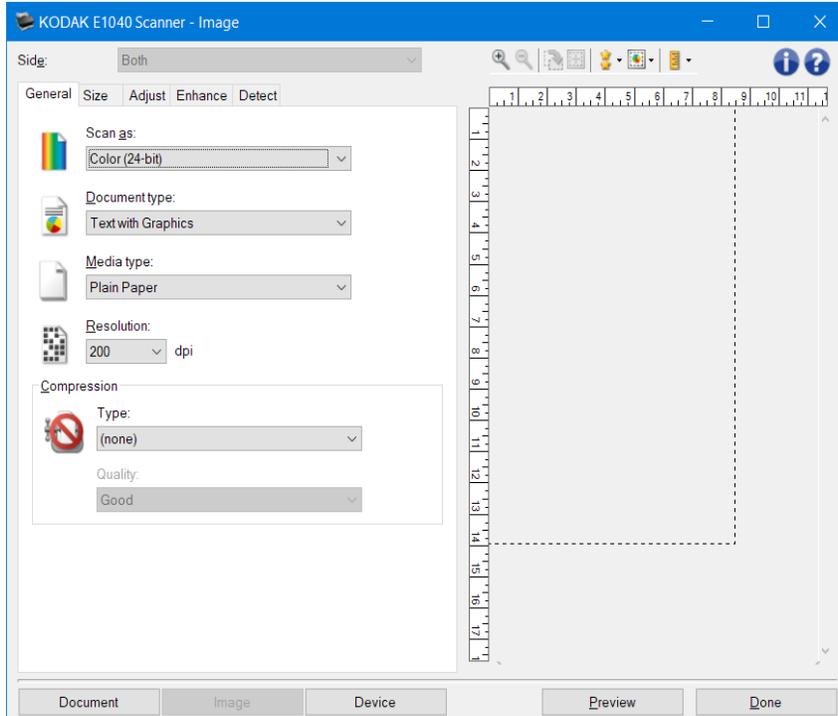
注記:

- このオプションは、**[感度: カスタム]**でのみ利用できます。
- **[色量]**と**[カラーズレッシュョルド]**のスライダーが自動的に調整されます。ジョブ設定で期待通りの結果にならない場合は、**[カラーズレッシュョルド]**の値を手動で調整してください。

注記: 共通のボタンやオプションについては、[\[原稿設定\] ウィンドウ](#)を参照してください。

## [イメージ設定] ウィンドウ

このウィンドウから、利用可能なタブを使用してイメージ処理オプションを定義できます。[イメージ設定] に使用される値は、選択された設定のショートカットに保存されます。[イメージ設定] ウィンドウには、**[一般]**、**[サイズ]**、**[調整]** (**カラー/グレースケール**と**白黒**)、**[拡張機能]**、および**[検知]**の各タブがあります。



**読取り面** - 設定する読取り面とイメージを選択できます（例：表面、裏面、両面：カラー（24ビット）など）。すべてのイメージ設定は、選択されたイメージに適用されます。

注記:

- このオプションは、**[詳細]** タブで詳細設定が選択された場合にのみ利用できます。
- **[両面]** および **[裏面]** オプションは、両面スキャナーモデルでのみ利用できます。

## [ツールバー] ボタン



**ズームイン:** プレビューエリアに現在表示されているイメージを拡大します。



**ズームアウト:** プレビューエリアに現在表示されているイメージを縮小します。



**アウトラインを回転:** アウトラインを 90 度回転します。

注記: このオプションは、回転されたアウトラインがスキャナーの最大幅に適合する場合のみ利用できます。



**アウトラインを中央に配置:** アウトラインがスキャナーの最大幅の中央に配置されるように、アウトラインの X 原点を調整します。



**プレビューの品質:** スキャンされた画像の品質を選択します。

- **標準:** イメージを低解像度で表示します。
- **高:** 実際のイメージにもっとも近い品質で表示します。このオプションを選択し

た場合、プレビューエリアに表示されるイメージは、最終的に出力されるイメージに近いものになります。

注記：原稿の内容に応じて、イメージが実際のように表示されるよう、拡大表示する必要がある場合があります。

**自動プレビュー更新：**表示されるイメージの更新方法を選択できます。



- **オン：**表示イメージは自動的に設定変更を反映して表示されます。通常、原稿を再スキャンする必要はありません。再スキャンが必要な場合は、原稿をもう一度挿入するようメッセージが表示されます。
- **オフ：**再度プレビュースキャンを実行するまで、表示されるイメージは更新されません。



**単位：**スキャナーの測定値の単位を選択します。これには、プレビューエリアとサイズ関連オプションが含まれます。[単位] オプションは、[インチ]、[センチメートル]、および [ピクセル] です。

### プレビューエリア

プレビューエリアに表示されるイメージは、現在のショートカット設定に基づくサンプルです。プレビュースキャンの実行後に、このエリアにイメージが表示されます。

- **アウトライン：** [原稿： マニュアル指定]、または [イメージ： ドキュメントの一部] を [サイズ] タブから選択しても、プレビューエリアに現在の [アウトライン] 選択項目が表示されます。アウトラインの位置がプレビューイメージと合っていない場合は、マウスを使用してアウトラインのサイズと位置を調整できます。マウスのカーソルをアウトラインの回りで動かすとカーソルが変化し、マウスの左ボタンを押し続けるとアウトラインを変更できます。
- **移動：** カーソルをアウトライン内に置くと、アウトラインの位置を調整できます。
- **角：** グラフィックの四隅の1つにカーソルを置くと、2つの辺を同時に調整できます。



- **辺：** グラフィックの四辺の1つにカーソルを置くと、その辺を調整できます。



- **回転：** 回転グラフィックの上にカーソルを置くと、アウトラインの角度を調整できます。



原稿 - [\[原稿設定\] ウィンドウ](#)を表示します。

デバイス - [\[デバイス設定\] ウィンドウ](#)を表示します。

プレビュー - スキャンを開始すると、プレビューエリアに入っているスキャンイメージを含む [イメージ設定] ウィンドウが表示されます。表示されたイメージは、現在のショートカット設定に基づいたサンプルです。

完了 - [スキャナーメインウィンドウ](#)に戻ります。

情報アイコン



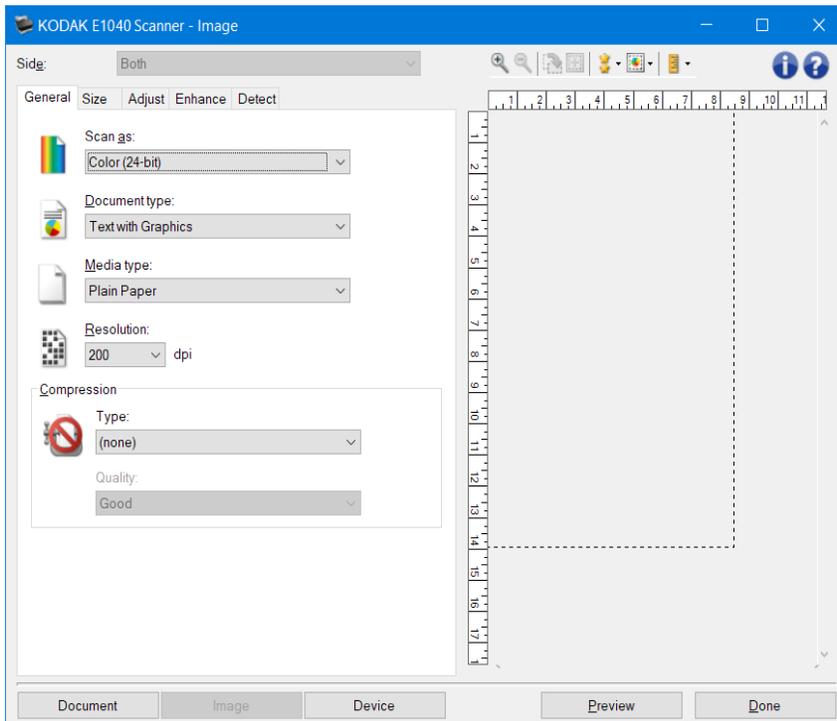
**バージョン情報:** スキャナーのバージョンと著作権情報を表示します。



**ヘルプ:** 現在表示されているウィンドウのヘルプ情報を表示します。

## イメージ - [一般] タブ

[一般] タブには、一般的に使用されるイメージオプションが用意されています。ほとんどの場合、他のタブのオプションを変更する必要はありません。



スキャン方法 - 電子イメージの書式を選択できます。

- **カラー (24 ビット)**：スキャナーはドキュメントの**カラー**版を生成します。
- **グレースケール (8 ビット)**：スキャナーはドキュメントの**グレースケール**版を生成します。
- **白黒 (1 ビット)**：スキャナーはドキュメントの**白黒**版を生成します。

注記：[スキャン方法] オプションは、[読取り面あたりのイメージ数：1] が [詳細] タブで選択されている場合のみ使用できます。

ドキュメントタイプ - 原稿の内容のタイプを選択します。

- **グラフィック付きテキスト**：文字、ビジネスグラフィック（棒グラフ、円グラフなど）、線画などが混在している原稿の場合に選択します。
- **テキスト**：文字が主体の場合に選択します。
- **フォト**：写真が主体の場合に選択します。

書類のタイプ - スキャンする用紙の素材や重量に基づいてタイプを選択します。オプションには、**[普通紙]**、**[薄紙]**、**[光沢紙]**、**[カードストック]**、**[雑誌]** があります。

解像度 - スキャンしたイメージの画質に大きく影響する 1 インチあたりの点 (dpi) の数を選択できます。高い解像度でスキャンすると画質が良くなります。また、スキャン時間が長くなりイメージサイズが大きくなります。

注記：このオプションは、**[プレビュー品質]** が **[標準]** に設定されている場合はプレビューイメージに適用されません。

**圧縮** - 電子イメージのサイズを縮小できます。

- **種類:** スキャナーはドキュメントの[カラー](#)版を生成します。
- **(なし):** 圧縮しません。サイズの大きなイメージが生成されます。
- **グループ-4:** CCITT 規格を使用してイメージを圧縮します。多くの場合、[TIFF](#) ファイルと併用されます。

注記: このオプションは、[\[スキャン方法: 白黒 \(1 ビット\)\]](#)でのみ利用できます。

- **JPEG:** [JPEG](#) 技術を使用してイメージを圧縮します。

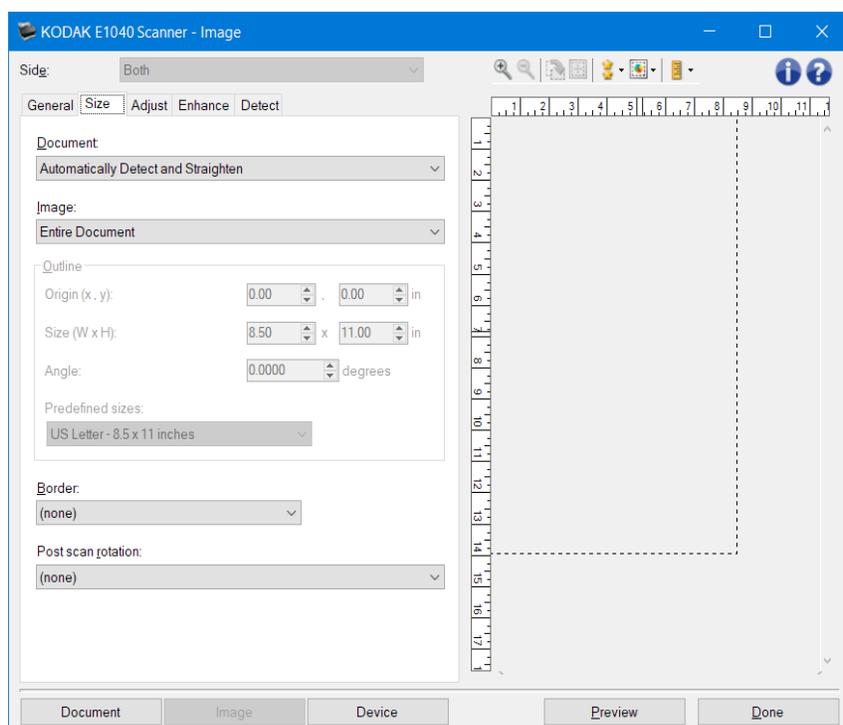
注記: このオプションは、[\[スキャン方法: 白黒 \(1 ビット\)\]](#)では利用できません。

- **品質:** 圧縮 JPEG イメージの品質を選択します。
- **ドラフト:** 圧縮率を最大にして最小サイズのイメージが生成されます。
- **標準:** 標準的な圧縮率ですが、十分な品質のイメージが生成されます。
- **高:** ある程度圧縮され、良い品質のイメージが生成されます。
- **最高:** 圧縮率は低く、とても良い品質のイメージが生成されます。
- **高品質:** 最小の圧縮率で最大サイズのイメージが生成されます。

注記: このオプションはプレビューイメージには適用されません。

注記: 共通のボタンやオプションについては、[\[イメージ設定\] ウィンドウ](#)を参照してください。

## イメージ - [サイズ] タブ



原稿 - スキャナーに給紙中の原稿を検知する方法を選択します。

- **自動検知/傾き補正:** 各原稿を（サイズに関係なく）自動的に検知し、斜めに搬送された原稿の傾きを補正します。
- **自動検知:** 各原稿を（サイズに関係なく）自動的に検知します。原稿が斜めに搬送されても、補正されません。
- **マニュアル選択:** **[アウトライン]** オプションで指定する領域に基づきイメージが返されます。同一サイズの原稿を含むスキャンジョブに対してのみ、このオプションを使用してください。

イメージ - 原稿のどの部分を電子イメージの作成に使用するかを選択します。

- **原稿全体:**
- **[原稿: 自動検知/傾き補正]、[原稿: 自動検知]、または [原稿: マニュアル選択]** を選択すると、原稿全体を返します。
- **原稿の一部:**
- **[原稿: 自動検知/傾き補正]** を選択すると、**[アウトライン]** オプションで指定する原稿の一部を返します。

アウトライン - 電子イメージの作成に使用する位置とサイズを選択します。プレビューエリアにアウトラインが表示されます。

- **原点 (x, y) :**
- **[原稿: 自動検知/傾き補正]** を選択すると、(x) は原稿の左端からの距離、(y) は原稿の上端からの距離になります。
- **[原稿: マニュアル指定]** を選択すると、(x) はスキャナーの搬送路の左端からの距離、(y) はスキャナーで検知された原稿の先端からの距離になります。

- **サイズ（幅 x 高さ）：**
  - **【原稿：自動検知/傾き補正】** または **【原稿：マニュアル指定】** を選択すると、これがイメージの幅と高さになります。  
注記：アウトラインがスキャンされた原稿の長さを超える場合、イメージは指定された長さよりも短くなる場合があります。
  - **角度：** アウトラインの角度を選択できます。
  - **設定サイズ：** 一般的に使用される用紙サイズのリストが表示されます。このリストから項目を選択すると、自動的にアウトラインのサイズがその用紙のサイズに設定されます。アウトラインのサイズがリストのどのサイズとも一致しない場合、**【カスタム】** が表示されます。  
注記：マウスを使用してプレビューエリアに表示されるアウトラインを調整することもできます。

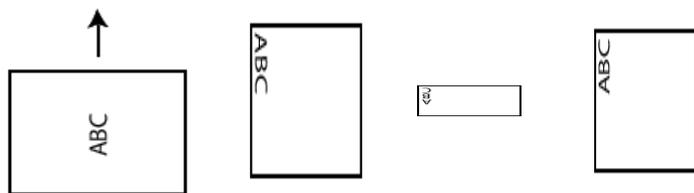
黒枠 - 電子イメージの端で実行するアクションを選択できます。

- （なし）
- **追加：** イメージの 4 辺に約 0.1 インチまでの黒枠が含まれます。  
注記：このオプションは、**【原稿：自動検知/傾き補正】**、**【原稿：自動検知】**、または **【原稿：マニュアル指定】** で使用できます。
- **削除：** イメージの 4 辺の周辺約 0.1 インチまでのデータが削除されます。外枠は原稿の端の振れにより生じます。たとえば、原稿が完全な四角形でない場合や歪んで搬送された場合などです。  
注記：
  - このオプションで外枠の大部分が削除できなかった場合、若干の文書情報が失われる可能性があります。
  - このオプションは **【原稿：自動検知/傾き補正】** および **【イメージ：原稿全体】** がどちらも選択されている場合にのみ使用できます。  
注記：このオプションはプレビューイメージには適用されません。

スキャン後に回転 - 電子イメージのスキャン後にイメージに適用される回転率を選択できます。

- （なし）
- **自動：** スキャナーが各原稿を分析して、原稿が送信された方法を判断し、イメージを適正な方向に回転します。
- **自動 - デフォルト 90 度：** スキャナーが各原稿を分析して、原稿が送信された方法を判断し、イメージを適正な方向に回転します。原稿がどのように給紙されたか特定できない場合、イメージは 90 度回転されます。
- **自動 - デフォルト 180 度：** スキャナーが各原稿を分析して、原稿が送信された方法を判断し、イメージを適正な方向に回転します。原稿がどのように給紙されたか特定できない場合、イメージは 180 度回転されます。
- **自動 - デフォルト 270 度：** スキャナーが各原稿を分析して、原稿が送信された方法を判断し、イメージを適正な方向に回転します。原稿がどのように給紙されたか特定できない場合、イメージは 270 度回転されます。
- **90 度、180 度、270 度：** 回転率  
以下の例は、これらの設定が横方向にスキャンされた原稿にどのように影響するかを表します。

横送り給紙	90 度	180 度	270 度
-------	------	-------	-------

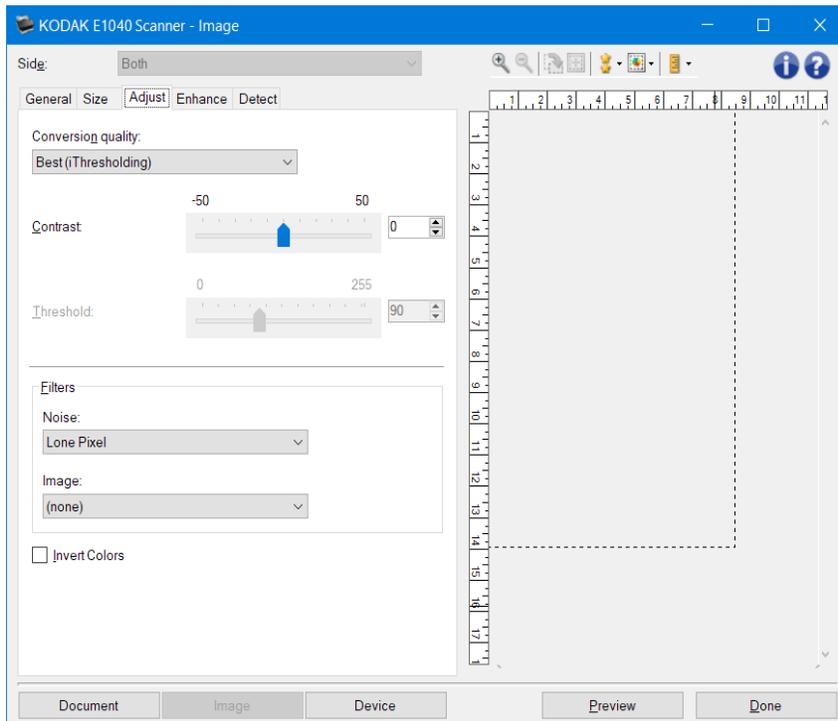


注記: このオプションはプレビューイメージには適用されません。

注記: 共通のボタンやオプションについては、[\[イメージ設定\] ウィンドウ](#)を参照してください。

## イメージ - [調整] タブ - 白黒

[調整] タブで利用できるオプションは、[\[一般\] タブ](#)の[\[スキャン方法\]](#)の選択項目により異なります。以下のオプションは、[\[スキャン方法\]](#)で[\[白黒\]](#)を選択した場合に基づきます。



**変換の品質** - 白黒電子イメージを生成するために使用する、ドキュメントの[グレースケール](#)版に対するスキャナーの分析方法を設定します。

- **最高 - Intelligent QC:** 最高解析に加え、Intelligent QC（品質管理）も実行されます。設定が困難な原稿のイメージがグレースケールで生成され、ご使用のアプリケーションソフトウェアで画質を最終的に決定することができます。  
注記：このオプションは KODAK キャプチャプロソフトウェアでのみ利用できます。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- **最高 (iThresholding) :** 高品質のイメージを生成するために、スキャナーは各原稿を分析して、最適な設定を決定します。このオプションでは、画質が異なる混合原稿（文字のかすれ、暗い背景、カラーの背景など）をスキャンすることができます。
- **標準 (ATP - アダプティブスレッシュホールドプロセッシング) :** 目的の画質を生成するための最適な設定を選択できます。このオプションは単一の設定で原稿をスキャンする際に最適です。また、[\[最高\]](#)選択時に目標とする画質の[\[コントラスト\]](#)設定が見つからない場合など、取り扱いの困難な原稿をスキャンする際にもこのオプションを使用できます。
- **ドラフト (固定) :** ピクセルが白か黒かを判断するために使用するグレースケールのしきい値を選択します。このオプションは、コントラストの高い原稿に最適です。

**コントラスト** - イメージをよりシャープにまたはソフトにします。この設定値を小さくすると、イメージがソフトになり、イメージ内のノイズが除去されます。この設定値を大きくすると、イメージがより鮮明になり、薄いイメージがわかりやすくなります。これらのオプションの範囲は、**-50 から 50**です。デフォルトは**0**です。

注記：これは、[\[変換時の品質: 最高\]](#)と[\[変換時の品質: 標準\]](#)の場合のみ使用できます。

**しきい値** - ピクセルを黒または白と認識するレベルを設定します。この設定値を小さくすると、イメージが薄くなり、背景ノイズを抑えることができます。この設定値を大きくすると、イメージが濃くなり、薄いイメージを取り込みやすくなります。これらのオプションの範囲は、**0** から **255** です。デフォルトは **90** です。

注記: これは、[\[交換時の品質: 標準\]](#) および [\[交換の品質: ドラフト\]](#) の場合のみ使用できます。

#### フィルター

- **ノイズ**
  - 
  - (なし)
  - **Lone Pixel (孤立点除去)**: 白ピクセルで完全に囲まれている単一の黒ピクセルを白へ変換するか、黒ピクセルで完全に囲まれている単一の白ピクセルを黒へ変換することにより、ランダムノイズを減らします。
  - **マジョリティールール**: 各ピクセルをその周辺全域のデータに基づき設定します。囲んでいるピクセルの多数が白の場合、そのピクセルは白になり、そうでない場合は黒になります。
- **イメージ**
  - 
  - (なし)
  - **ハーフトーン除去**: ハーフトーンスクリーンを使ったドットマトリックステキストおよびイメージ (新聞の写真など) の見栄えを良くします。

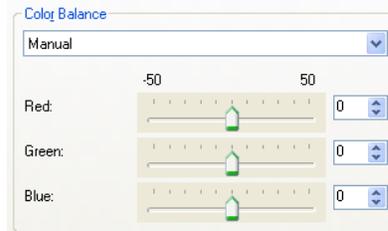
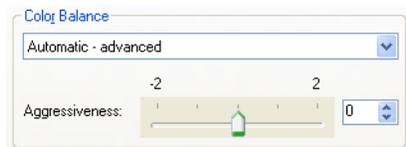
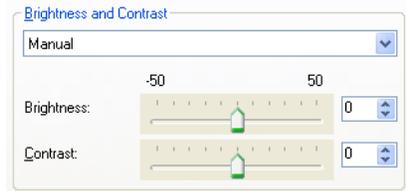
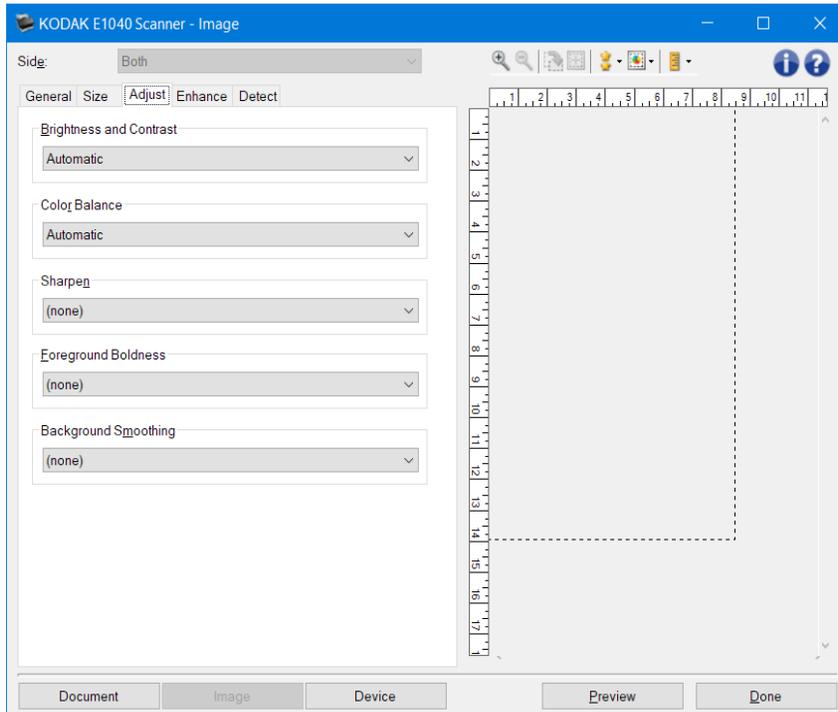
**反転** - 黒ピクセルがイメージ内に保存される方法を選択できます。デフォルトでは、黒ピクセルは黒として、白ピクセルは白として保存されます。黒ピクセルを白として、白ピクセルを黒として保存する場合は、このオプションを有効にします。

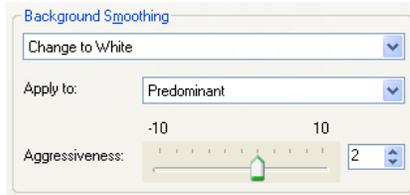
注記: 共通のボタンやオプションについては、[\[イメージ設定\] ウィンドウ](#) を参照してください。

### イメージ - [調整] タブ - カラー/グレースケール

[調整] タブで利用できるオプションは、[一般\] タブ](#)の [スキャン方法] の選択項目により異なります。以下のオプションは、[スキャン方法] で [カラー] または [グレースケール] を選択した場合に基づきます。

注記: ほとんどのオプションには、追加設定があります。これらの設定は、オプションが選択された場合のみ表示されます。すべての設定が画面に収まらない場合、すべての設定にアクセスできるようにスクロールバーが表示されます。





## 明度とコントラスト

- (なし)
- **自動:** 各イメージを自動的に調整します。
- **手動:** すべてのイメージに使用される特定の値を設定できます。
- **明度** - カラー/グレースケールイメージ中の白の量を変更します。値の範囲は、**-50** から **50** です。
- **コントラスト** - イメージをよりシャープに、またはよりソフトにします。値の範囲は、**-50** から **50** です。

## カラーバランス

- (なし)
- **自動:** 各原稿の白い背景を純白に調整します。このオプションを使用すると、用紙ごとの厚さやブランドの違いによる白の差異を補うことができます。このオプションは写真に対して使用しないことを推奨します。
- **自動 - 詳細:** **自動** オプションの詳細を調整したい場合に使用します。
  - **強度** - 差異の度合いを調整できます。値を大きくすることで、古くなって黄ばんだ原稿に対応できます。値の範囲は、**-2** から **2** です。
- **手動:** すべてのイメージに使用される特定の値を設定できます。
  - **赤** - カラーイメージ中の赤の量を調整します。値の範囲は、**-50** から **50** です。
  - **緑** - カラーイメージ中の緑の量を調整します。値の範囲は、**-50** から **50** です。
  - **青** - カラーイメージ中の青の量を調整します。値の範囲は、**-50** から **50** です。

注記: カラーバランスはグレースケールイメージでは利用できません。

## シャープネス - イメージ内の境界線のコントラストを増やします。

- (なし)
- 標準
- 高
- 最高

## 前景のボールド化 - 前景（テキスト、行など）をさらに目立たせたい原稿やフォームに対してこのオプションを使用します。

- (なし)
- **自動:** 前景の文字や線がすべて太くなります。
- **自動 - 詳細:** **自動** オプションの詳細を調整したい場合に使用します。
  - **強度** - 強弱を調整して前景を調整します。値の範囲は、**-10** から **10** です。

## 背景のスモーキング - 背景色のある原稿やフォームをスキャンする場合にこのオプションを使用すると、より均一な背景色のイメージが生成されます。このオプションを利用すると、画像品質を向上し、ファイルサイズを軽減できます。

## ウィンドウとタブ

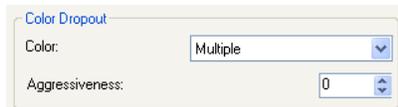
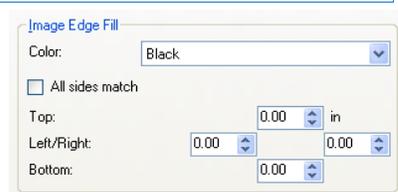
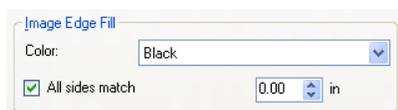
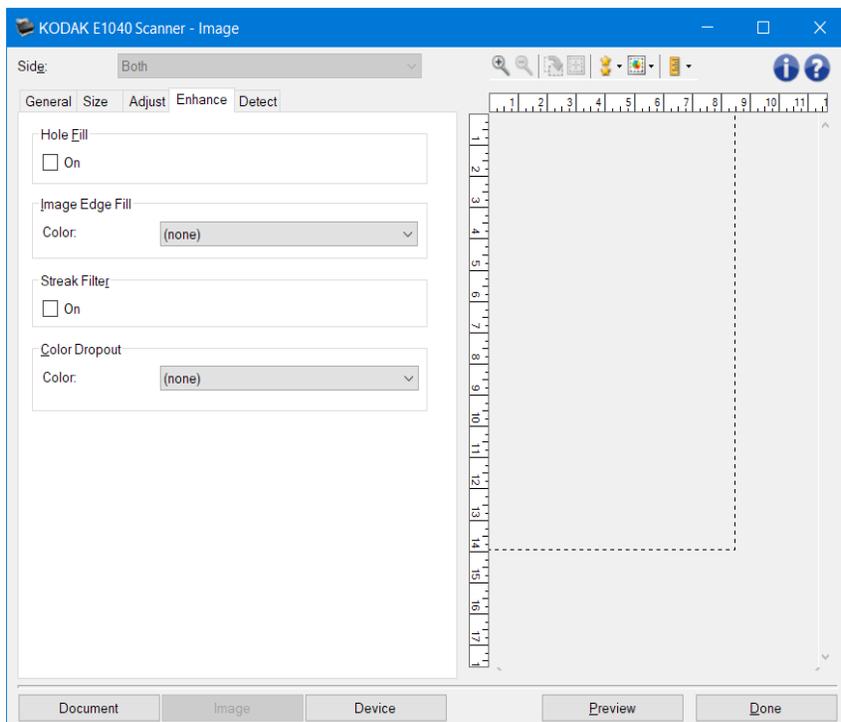
- (なし)
- **自動**: 背景色を 3 色までスムージングします。
- **自動 - 詳細**: **自動**オプションの詳細を調整したい場合に使用します。
  - **強度** - 強弱を調整して背景色を決定します。値の範囲は、**-10** から **10** です。

注記: 共通のボタンやオプションについては、[\[イメージ設定\]ウィンドウ](#)を参照してください。

## イメージ - [強化] タブ

[強化] タブで利用できるオプションは、[\[一般\] タブ](#)の【スキャン方法】の選択項目により異なります。

注記: ほとんどのオプションには、追加設定があります。これらの設定は、オプションが選択された場合のみ表示されます。すべての設定が画面に収まらない場合、すべての設定にアクセスできるようにスクロールバーが表示されます。



**パンチ穴除去** - ドキュメントの端の周囲にある穴を埋めることができます。埋める穴のタイプ: 円、長方形、および不定形 (例、二重穴が開いている、またはバインダーからドキュメントを取り外した際に発生した可能性がある多少の裂け目がある)。

- **オン:** パンチ穴除去をオンにします。

**イメージ端埋め** - 最終的に出力される電子イメージの端の領域を、指定した色で埋めます。

- カラー
- (なし)

- **自動:** イメージの端が周囲の色で自動的に埋められます。  
注: イメージに希望しない外枠が表示される場合は、[自動]を使用して削除します。
- **自動 - 破れを含む:** イメージ端埋めに加え、原稿の端の破れも補修されます。
- 白
- 黒
- **フレーム設定:** このオプションをオンにすると、4辺が等しく埋められます。  
注記: このオプションは [白] または [黒] でのみ利用できます。
- **上:** 上端を埋める量を決定します。  
注記: このオプションは、[フレーム設定] がオンの場合は利用できません。
- **左/右:** 左のオプションは、左端を埋める量を、右のオプションは右端を埋める量を決定します。  
注記: これらのオプションは、[フレーム設定] がオンの場合は利用できません。
- **下:** 下端を埋める量を決定します。  
注記: このオプションは、[フレーム設定] がオンの場合は利用できません。

注記:

- **イメージ端埋め**を使用する場合は、大きな値を入力しないよう注意してください。値が大きすぎると、イメージデータが塗りつぶされる場合があります。
- このオプションはプレビューイメージには適用されません。

**縦縞フィルタ** - イメージから縦縞をフィルタするようにスキャナーを設定できます。縦縞とは、元の原稿には存在しないにもかかわらず、イメージに現れることがある線のことです。縦縞は、原稿上の汚れ、塵、擦り切れた端などが原因で発生するか、スキャナーの推奨清掃手順に従わなかったために発生する場合があります。

- **オン:** 縦縞フィルタをオンにします。
- **強度:** 縦縞フィルタの強弱を調整します。値の範囲は、**-2** から **2** です。デフォルトは **0** です。  
注記: 写真をスキャンする場合は、イメージ-[一般]タブでドキュメントタイプに [写真] を選択すると、他のドキュメントタイプを選択する場合よりも、高画質の写真イメージをスキャンできます。

**カラードロップアウト** - 形式の背景を消去するために使用します。背景が消去されると入力されたデータが電子イメージに含まれます（形式のラインとボックスを削除）。白黒イメージの場合、スキャナーが電子イメージの生成のために解析する グレースケール イメージは、設定に影響を受けます。

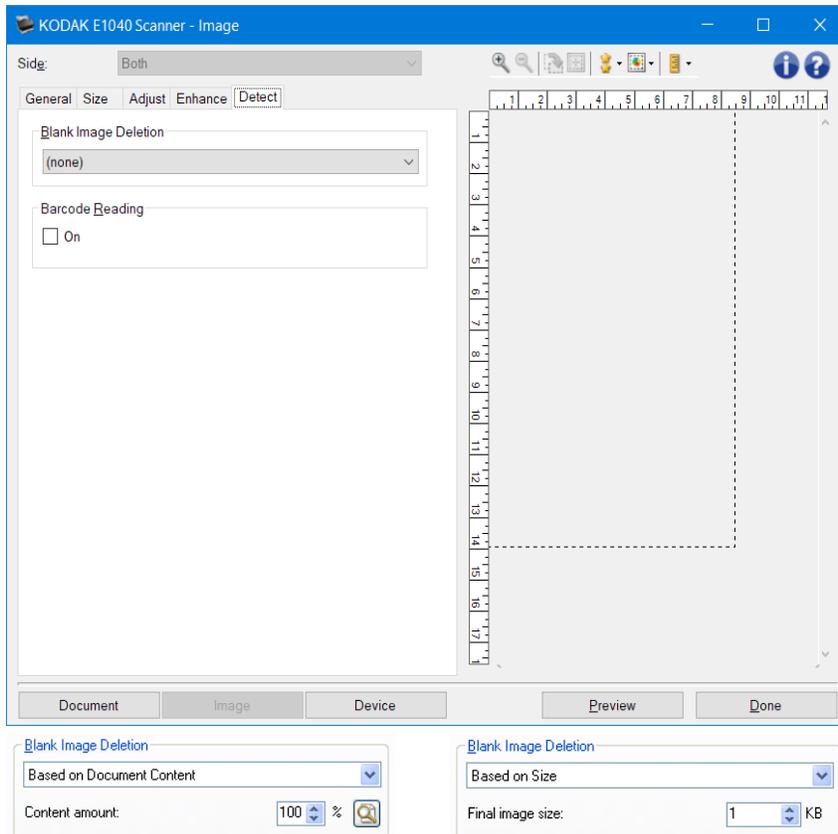
- **カラー:** ドロップアウトする色を選択します。
  - (なし)
  - **複数:** 濃い色合い（例: 黒または濃い青インク）以外の色をドロップします
  - **主色:** メインの色をドロップします
  - **赤:** 赤色をドロップします。
  - **緑:** 緑色をドロップします。
  - **青:** 青色をドロップします。
  - **オレンジ色:** オレンジ色をドロップします。
  - **オレンジ色と赤色:** オレンジ色と赤色をドロップします。
- **強度:** カラーをドロップする強弱を調整します。値の範囲は、**-10** から **10** です。デフォルトは **0** です。  
注記: このオプションは、[カラー] が [複数] または [主色] に設定されている場合のみ使用できません。

注記: [\[カラードロップアウト\]](#) オプションは、[\[スキャン方法\]](#)で [\[白黒\]](#) または [\[グレースケール\]](#) が選択されている場合にのみ利用できます。

注記: 共通のボタンやオプションについては、[\[イメージ設定\] ウィンドウ](#)を参照してください。

## イメージ - [検出] タブ

注記: いくつかのオプションには、追加設定があります。これらの設定は、オプションが選択された場合のみ表示されます。設定が画面に収まらない場合、すべての設定にアクセスできるようにスクロールバーが表示されます。



**白紙イメージ検出** - スキャンアプリケーションに白紙のイメージが取り込まれないようにスキャナーを設定します。

- (なし): イメージがすべてスキャンアプリケーションに出力されます。
- **自動カラー検知**: イメージ内の原稿内容に基づきイメージが白紙であるかどうか判断します。
  1.
    - **文字量**: スキャナーが白紙であると判断する文字量の最大値を設定できます。情報量がこの値以上のイメージは白紙でないと判断され、スキャンアプリケーションへ送信されます。値の範囲は、**[0]** から **[100]** %です。
    -  **文字量**: 文字量にはプレビューイメージの内容量が入力されます。サンプルの白紙ドキュメント (例: レターヘッド付きの白紙シート) がある場合、これは **[コンテンツサイズ]** の設定を決定する指標となります (つまり、プレビュースキャンを実行し、このボタンをクリックして、**[文字量]** を適切に調節します)。

注記: このオプションはプレビューイメージがある場合のみ使用できます。
- **サイズ基準**: (他のすべての設定を適用後) スキャンアプリケーションへ送信時にイメージのサイズに基づいて、白紙であるかどうか判断されます。
  - **最終イメージサイズ**: スキャナーが白紙でないと判断するイメージの最小サイズを選択できます。サイズがこの値以下のイメージは白紙と判断され、スキャンアプリケーションへ送信されます。

ンへ送信されません。値の範囲は、**[1]** から **[1000]** KB（1 KB は 1024 バイトに相当）です。

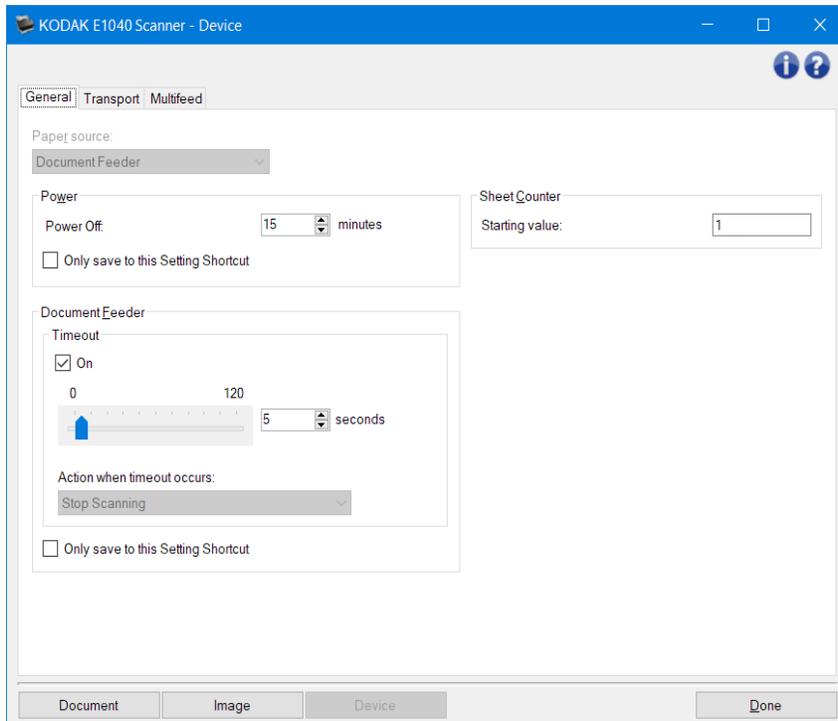
**バーコード読取り** - スキャナーがバーコードのイメージを検索するように設定できます。スキャナーは各イメージを検索し、最初に検出したバーコードをデコードし、その情報をスキャンアプリケーションに返します。

- **オン:** バーコード検出をオンにします。

注記: 共通のボタンやオプションについては、[\[イメージ設定\] ウィンドウ](#)を参照してください。

## [デバイス設定] ウィンドウ

利用可能なタブを使用して、スキャナー固有のオプションをすべてこのウィンドウから設定できます。  
[デバイス設定] に使用される値は、選択された設定のショートカットに保存されます。[デバイス設定] ウィンドウには、次のタブが含まれます。[\[一般\]](#)、[\[トランスポート\]](#)、[\[重送\]](#)。



原稿 - [\[原稿設定\] ウィンドウ](#)を表示します。

イメージ - [\[イメージ設定\] ウィンドウ](#)を表示します。

完了 - [スキャナーメインウィンドウ](#)に戻ります。

## 情報アイコン



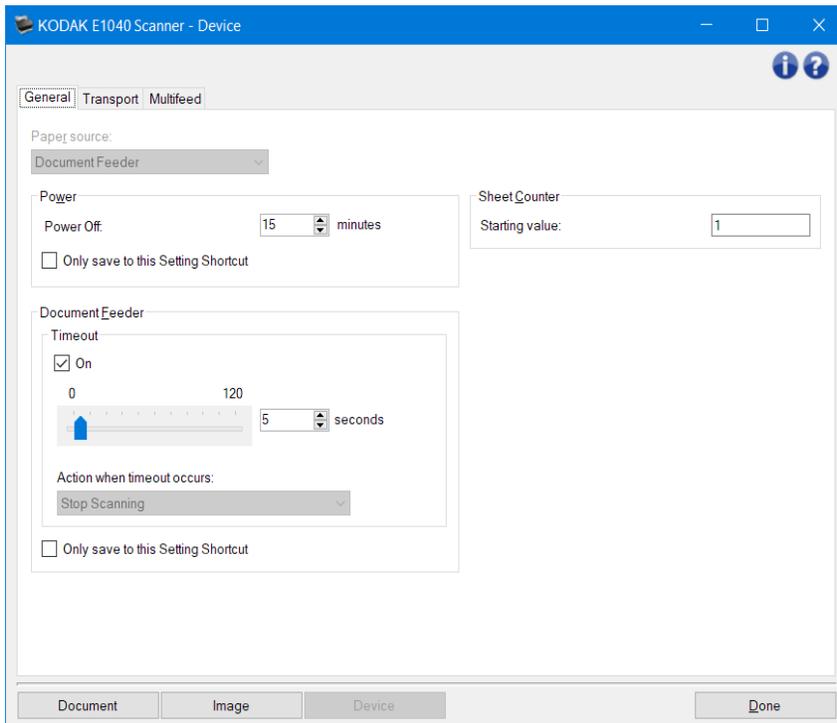
**バージョン情報:** スキャナーのバージョンと著作権情報を表示します。



**ヘルプ:** 現在表示されているウィンドウのヘルプ情報を表示します。

## デバイス - [一般] タブ

[一般] タブを使用して、スキャナー固有のオプションを設定したり、スキャナー診断にアクセスしたりできます。



### スキャン方法

- **自動:** 最初にドキュメントフィーダに原稿があるか確認します。入力トレイに原稿がない場合、スキャナーはフラットベッドからスキャンします。
- **ドキュメントフィーダ:** スキャナーは入力トレイからのみ原稿をスキャンします。
- **フラットベッド:** スキャナーはフラットベッドからスキャンします。

注記: **[自動]** および **[フラットベッド]** オプションは、スキャンアプリケーションがスキャナーに接続され、フラットベッドアクセサリが取り付けられている場合のみ利用できます。

### 電源

- **電源オフ:** スキャナーが非アクティブになってから自動的に電源が切れるまでの時間（分）を設定できます。

注記: **[電源]** 設定は、すべての **設定のショートカット** で共有されます。**[この設定のショートカットにのみ反映]** オプションを有効にしない限り、変更は他のショートカットに反映されます。

### ドキュメントフィーダ

- **タイムアウト:** 最後の原稿がフィーダに入ってからタイムアウトになるまでのスキャナーの待機時間（秒）を選択できます。
- - **スキャンの停止:** スキャンを停止し、コントロールをスキャンアプリケーションに戻します（ジョブの終了など）。

注記: [\[ドキュメントフィーダ\]](#) 設定は、すべての [設定のショートカット](#) で共有されます。 [\[この設定のショートカットにのみ反映\]](#) オプションを有効にしない限り、変更は他のショートカットに反映されません。

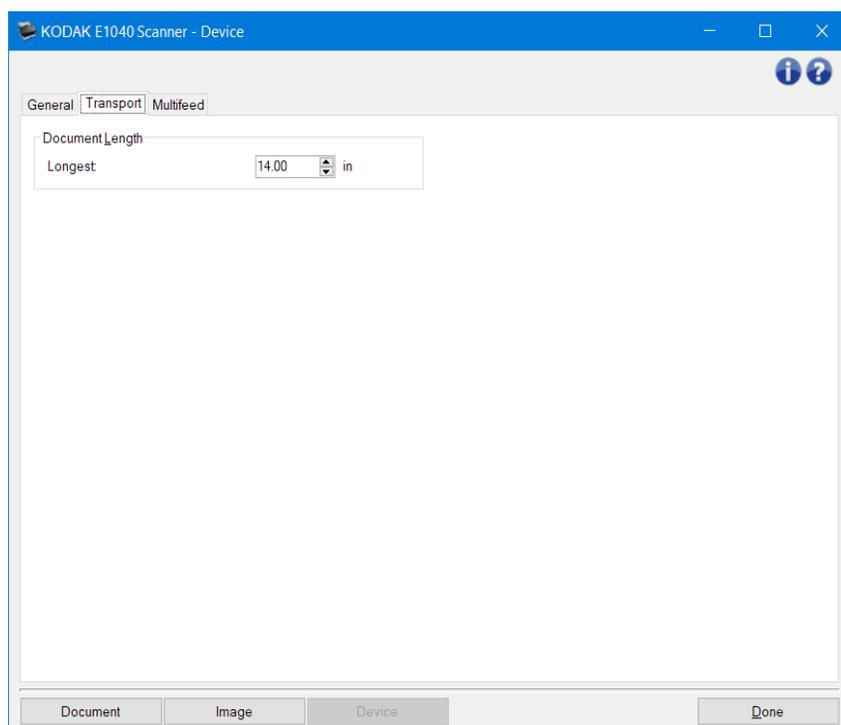
**用紙枚数カウンタ** - 次にスキャナーに入る用紙に割り当てる番号を入力します。これは、スキャナーで順次カウントされ、イメージヘッドに送られます。用紙枚数カウンタが最大値 (999,999,999) に達すると、次の用紙には用紙枚数カウンタ値 = 1 が割り当てられます。デジタルスタンプ機能でカウンタを使用する場合、デジタルスタンプの桁数によって、最大値が影響を受けます。たとえば、デジタルスタンプのカウンタの桁数が 1 に設定されている場合は、10 枚ごとにカウンタが 1 にリセットされます。

•

注記: 共通のボタンやオプションについては、[\[デバイス設定\] ウィンドウ](#) を参照してください。

## デバイス - [トランスポート] タブ

[トランスポート] タブでは、スキャナーのトランスポートエリアでの原稿の管理方法に対するオプションを設定できます。



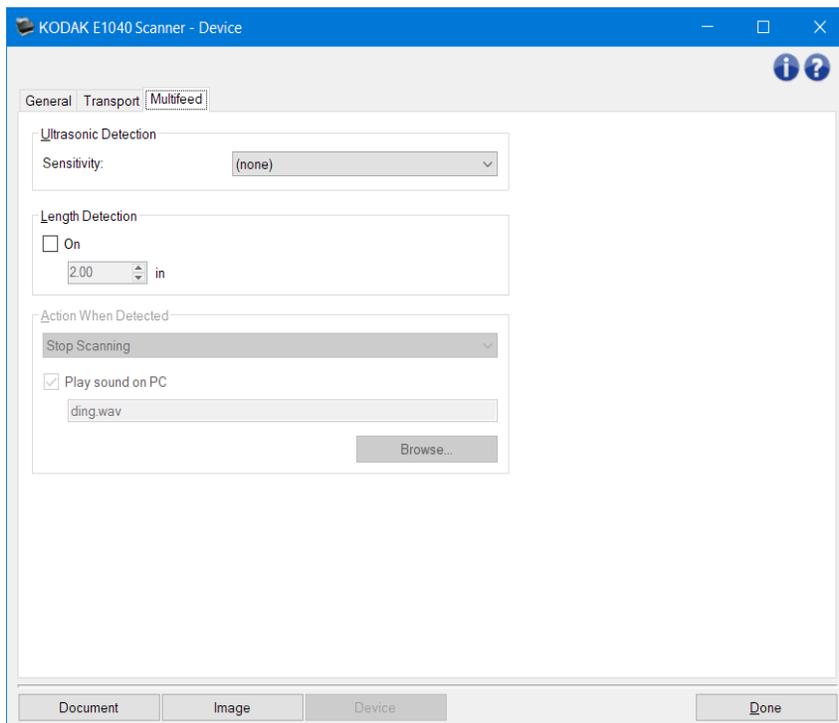
### 原稿長

- **最長** - 原稿セット内で最長の原稿の長さを示す値を選択します。
- 注記:
- この値を変更すると、次の設定の最大値に影響します。 [イメージサイズ-アウトライン](#)、[重送-長さによる探知](#)
  - [\[スキャン方法\]](#) と [\[解像度\]](#) の設定の組み合わせによっては、原稿の長さが制限される場合があります。より柔軟にアプリケーションに対応できるように、スキャナーは、許容値を超える原稿が確認されるまでエラーを生成しません。
  - 長い原稿の場合、スキャナーの処理速度が減少することがあります。

注記: 共通のボタンやオプションについては、[\[デバイス設定\] ウィンドウ](#)を参照してください。

## デバイス - [重送検知] タブ

重送検知機能は、原稿が重なった状態で給紙された時点で重送を検知します。重送はホッチキスで綴じられた原稿、原稿への粘着物、または静電気を帯びている原稿が原因で生じます。



### 超音波検知

**感度** - 搬送路に複数の原稿が重なった状態で送られたかどうかを、どの程度まで検知するかを指定します。重送は、原稿間のすきまを検出することにより、識別されます。そのため、厚さの異なる原稿が混在している場合でも、重送を検知できます。

- (なし)
- **低:** 感度が最も低い設定であり、ラベルを貼った原稿、紙質の悪い原稿、厚い原稿、または皺がある原稿を重送として認識する可能性が最も低くなります。
- **中:** 厚さが異なる原稿や、ラベルが貼られた原稿をスキャンする場合に使用します。ラベルの材質にもよりますが、大部分のラベルは重送とは認識されません。
- **高:** 感度が最も高い設定です。この設定は、すべての原稿が 20 ポンド以下のポンド紙の厚さである場合など、厚さが同じ原稿をスキャンするのに適しています。

注記: 設定の内容に関係なく、「貼付」された付箋は重送原稿として検知される場合があります。

**長さによる検知** - ジョブ設定で原稿の最大の長さを選択できます。スキャナーがこの値より長いドキュメントを検知した場合、重送が発生したと判定します。このオプションは**オフ**にすることも、長さを設定することもできます。

**検知時の動作** - 重送を検知した時のスキャナーの動作を選択します。すべてのオプションで、その状態がスキャナーに記録されます。

- **スキャンの停止:** スキャンを停止し、コントロールをスキャンアプリケーションに戻します（ジョブの終了など）。重送原稿のイメージは生成されません。搬送部に原稿が残っていないことを確認後、スキャンアプリケーションからスキャンを再開してください。

- **スキヤンの停止 - イメージ生成:** スキヤンを停止し、コントロールをスキヤンアプリケーションに戻します（ジョブの終了など）。重送原稿のイメージが生成されます。搬送部に原稿が残っていないことを確認後、スキヤンアプリケーションからスキヤンを再開してください。
- **スキヤンの停止 - 用紙を搬送路に残す:** スキヤンを直ちに停止し（搬送路はクリアされません）、コントロールをスキヤンアプリケーションに戻します（ジョブを終了します）。重送原稿のイメージは生成されません。搬送路から原稿を取り除き、スキヤンアプリケーションからスキヤンを再開してください。
- **スキヤンを継続:** スキヤンを継続します。重送原稿のイメージが生成されます。

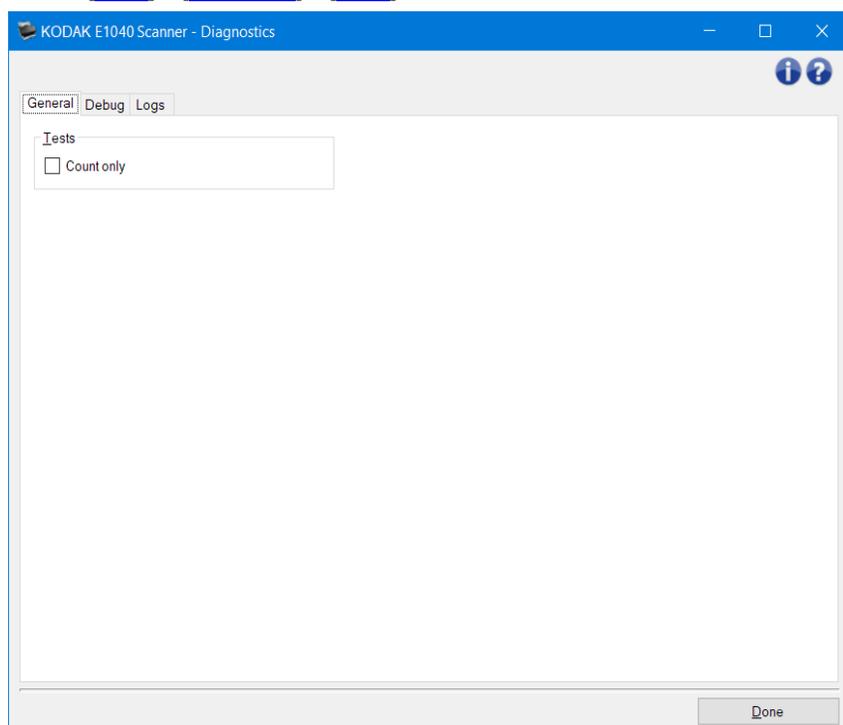
**PC の音源を鳴らす - 重送検知時に PC で音を鳴らす場合、このオプションを選択します。[参照] ボタン**をクリックして、再生する.wav ファイルを選択できます。

注記: PC の音源は、スキヤナーの重送検知時と同時に鳴らない場合があります。

注記: 共通のボタンやオプションについては、[\[デバイス設定\] ウィンドウ](#)を参照してください。

## [診断] ウィンドウ

このウィンドウではスキャナーの診断機能を使用できます。[診断] ウィンドウには、以下のタブがあります。[一般]、[デバッグ]、[ログ]。



デバイス - 診断を実行するデバイスを選択します。オプションには、**[ドキュメントフィーダ]** または **[フラットベッド]** があります。

注記: このオプションは、スキャンアプリケーションがスキャナーに接続されている場合で、フラットベッドアクセサリが取り付けられている場合にのみ利用できます。

完了 - [スキャナーメインウィンドウ](#)に戻ります。

### 情報アイコン



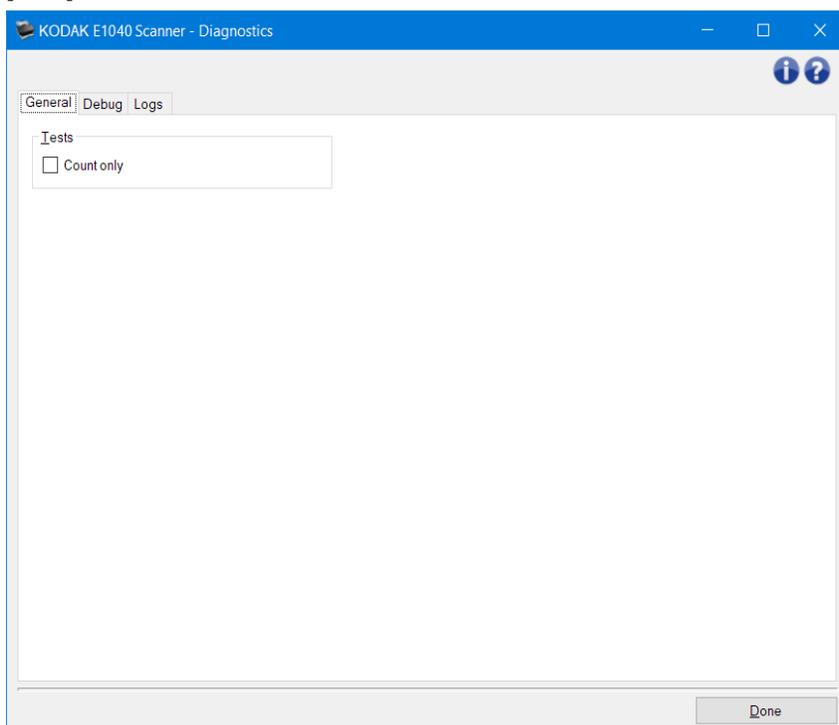
**バージョン情報:** スキャナーのバージョンと著作権情報を表示します。



**ヘルプ:** 現在表示されているウィンドウのヘルプ情報を表示します。

## 診断 - [一般] タブ

[一般] タブでは、スキャナーのテストや、を行います。



### テスト

- **カウントオンリー:** イメージをスキャンアプリケーションに実際には送信せずに、スキャナーに入る原稿の枚数を数えます。このテストは、オプション有効時のスキャンセッション中に実行します。

注記: スキャンアプリケーションがスキャナーから切断されると、テストは自動的に終了します。

**スキャナーを配送** - フラットベッドカメラを配送用のロック位置に移動します。

注記: このオプションは、**[デバイス]**が**[フラットベッド]**に設定され、取り付けられているフラットベッドアクセサリにロックスイッチがある場合にのみ利用できます。

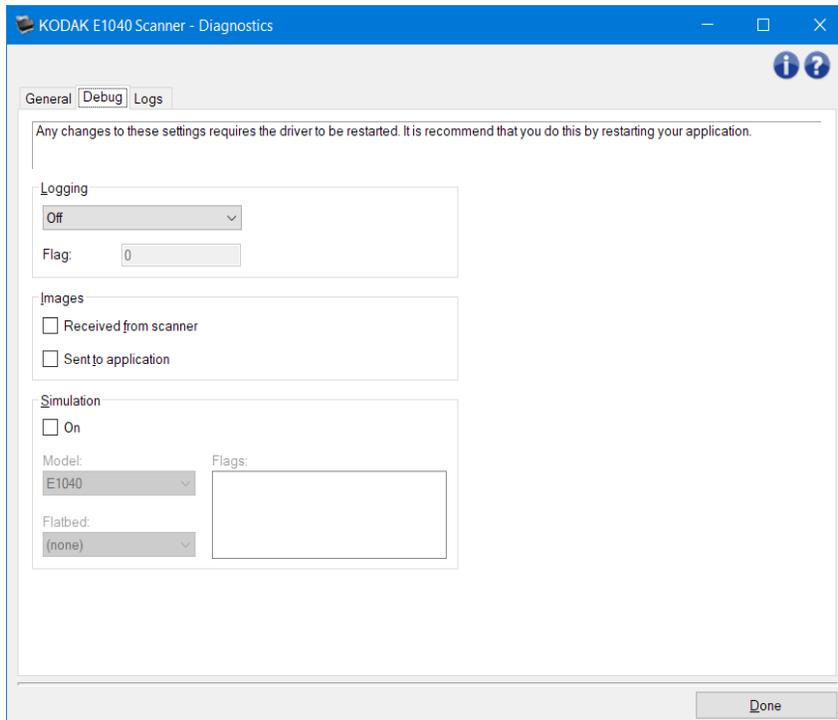
注記: 共通のボタンやオプションについては、[\[診断\] ウィンドウ](#)を参照してください。

## 診断 - [デバッグ] タブ

[デバッグ] タブでは、スキャナーを使用中に発生した問題をサポート担当者が診断するのに役立つオプションをオンにできます。サポート担当者からの指示があった場合のみ、このタブの変更を行ってください。

注記:

- このタブのオプションはすべて、現在選択されている [設定のショートカット](#)。
- このタブでの変更を有効にするには、アプリケーションを再起動する必要があります。



**ロギング** - スキャナーとスキャンアプリケーション間の通信を保存します。オプションには、**[OFF]**、**[ON]**、**[カスタム]** が用意されています。

**イメージ**

**スキャナーから受信:** PC がスキャナーから受信したイメージを保存します。

**アプリケーションに送信:** スキャンアプリケーションがスキャナーから受信したイメージを保存します。

**シミュレーション** - 実際のスキャナーを使用せずに **TWAIN** ドライバ/データソースを使用することができます。

**モデル:** シミュレートするスキャナーモデルを指定できます。

**フラットベッド:** シミュレートするフラットベッドアクセサリを選択できます。

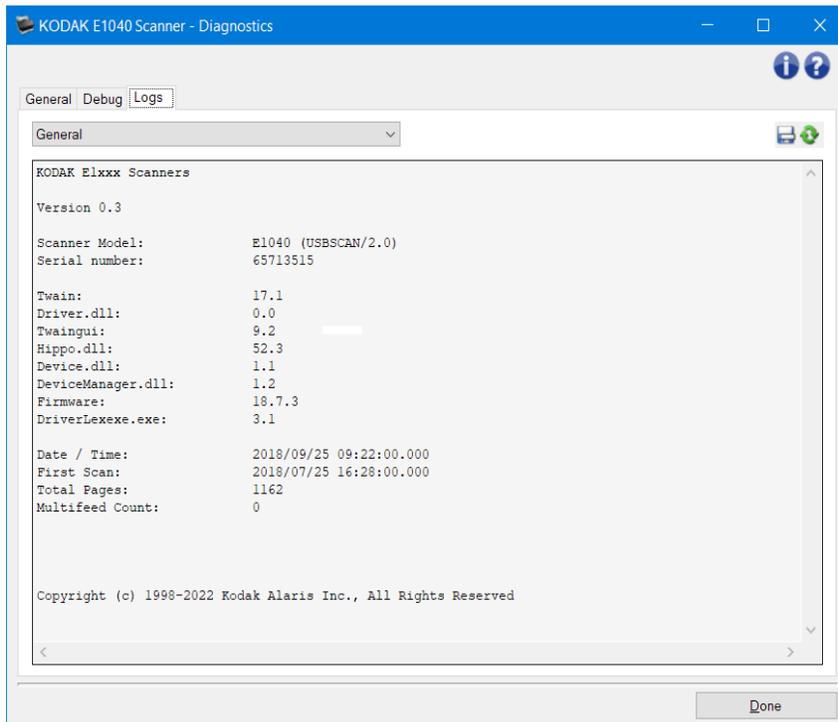
**フラグ:** お使いの **TWAIN** ドライバ/データソースがこのオプションをサポートしている場合、シミュレートするスキャナーにインストールされているアクセサリのリストが表示されます。

注記: 共通のボタンやオプションについては、[\[診断\] ウィンドウ](#)を参照してください。



## 診断 - [ログ] タブ

[ログ] タブでスキャナー情報を確認できます。

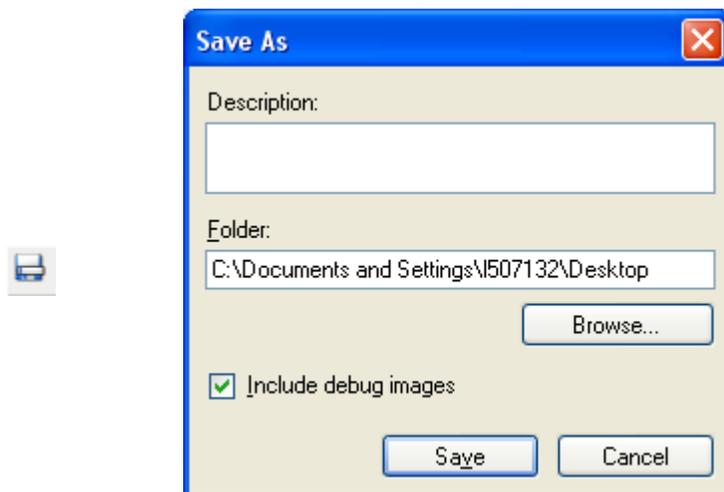


### ログ

- **一般:** スキャナーのバージョン情報、シリアル番号、取り付けられた/インストールされたアクセサリ、メーターなどが表示されます。

### [ツールバー] ボタン

名前を付けて保存: サポート担当者が閲覧できるようにすべてのログを保存します。選択すると [名前を付けて保存] ウィンドウが表示されます。



- **説明:** ログを保存する問題/理由の簡単な説明を入力します。
- **フォルダ:** ログの保存先です。
- **ブラウザ:** オペレーティングシステムの [ファイルを開く] ウィンドウが表示され、使

用するフォルダを検索できます。

- **デバッグイメージを含む:** 生成されたデバッグイメージをログと共に保存します。このオプションはデフォルトで有効になっています。サポート担当者から指示された場合のみ無効にしてください。
- **保存:** 拡張子.eklog でログファイルを保存します。



更新: 現在表示されているログを更新します。

注記: 共通のボタンやオプションについては、[\[診断\] ウィンドウ](#)を参照してください。

## 設定のショートカットの新規作成

1. スキャナーメインウィンドウのリストから、**設定のショートカット**を選択します。目的のイメージ出力に最適なショートカットを選択することが推奨されます。
2. **[原稿]**を選択します。**[原稿] ウィンドウ**が表示されます。
3. **[入力ドキュメントのタイプ]**フィールドから、原稿の表面、裏面、または両面のいずれかを選択します。
4. **スキャナーメインウィンドウ**で**[イメージ]**を選択します。**[イメージ設定] ウィンドウ**の**[一般]**タブが表示されます。
5. **[一般] タブ**で適切なオプションを選択します。  
注記：必要な場合は、他のタブで各設定を確認し、変更します。
5. スキャナーの入力トレイに書類を1枚セットします。
6. 選択したオプションによってどのようにイメージがスキャンされるかを確認するには、**[プレビュー]**をクリックします。  
注記：表示されたイメージの品質に満足できない場合は、別の**設定ショートカット**を利用して設定を変更するか、**[イメージ設定] ウィンドウ**の他のタブで設定内容を更に調整します。
7. **[イメージ設定] ウィンドウ**の**[デバイス]**を選択して、目的のデバイス設定を定義し、**[デバイス設定] ウィンドウ**を表示します。
8. 各タブで、スキャナーに実行させる適切なオプションを選択します。
9. **[完了]**を選択してスキャナーメインウィンドウに戻ります。
10. **[名前を付けて保存]**を選択して、**[名前を付けて保存] ウィンドウ**を表示します。
11. 判別しやすい新しいショートカット名を入力して、**[保存]**をクリックします。

## イメージ設定の変更

1. [スキャナーメインウィンドウ](#)から、目的のイメージ出力にもっとも近い内容の**設定のショートカット**を選択します。
  2. **[イメージ]**を選択すると、[\[イメージ設定\]ウィンドウ](#)が表示されます。
  3. 設定内容を変更する前に、**[イメージ設定]**ウィンドウの各タブをクリックして、どのようなオプションや機能があるかを確認します。
  4. スキャン時に実行する各オプションを適切に選択します。
  5. 選択したオプションによって、どのような効果が現れるかを確認する場合は、次の操作を実行します。
    - スキャナの入力トレイに書類を1枚セットします。
    - **[プレビュー]**を選択して、スキャンのプレビューを実行します。
- 注記: 表示されたイメージの品質に満足できない場合は、別の**設定のショートカット**を利用して設定を変更するか、もう一度**[イメージ設定]**ウィンドウの各タブを確認しながら現在の**設定のショートカット**を調整します。この手順は必要に応じて繰り返します。
6. 設定が完了したら、**[完了]**を選択してスキャナーメインウィンドウに戻り、**[保存]**を選択してショートカットの設定内容を保存します。

## デバイス設定の変更

1. [スキャナーメインウィンドウ](#)から、目的のイメージ出力にもっとも近い内容の**設定のショートカット**を選択します。
2. **【デバイス】**を選択すると、[【デバイス設定】ウィンドウ](#)が表示されます。
3. 設定内容を変更する前に、**【デバイス設定】**ウィンドウの各タブをクリックして、どのようなオプションや機能があるかを確認します。
4. スキャン時に実行する各オプションを適切に選択します。
5. 設定が完了したら、**【完了】**を選択してスキャナーメインウィンドウに戻り、**【保存】**を選択してショートカットの設定内容を保存します。

## 原稿の内容に基づくカラー/グレースケールまたは白黒イメージの作成

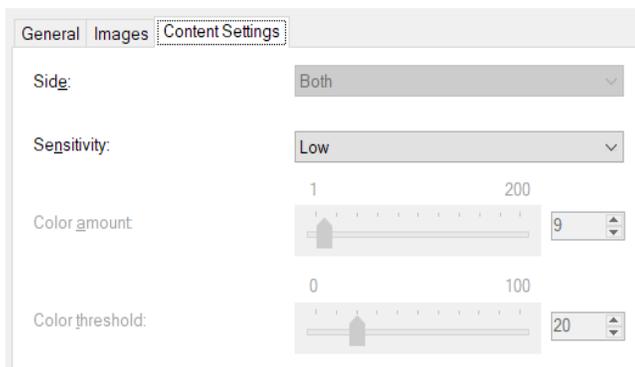
この例では、両面に情報が印刷されたカラーと白黒原稿が混在するスキャンセッションを設定します。また、スキャンでページがカラーか白黒かを判断し、それに基づきカラーまたは白黒イメージのいずれでも出力します。

1. [スキャナーメインウィンドウ](#)から、目的のイメージ出力にもっとも近い内容の**設定のショートカット**を選択します。
2. **[原稿]**を選択すると、[\[原稿設定\] ウィンドウ](#)が表示されます。
3. **[イメージ]** タブを選択します。
4. **[入力ドキュメントのタイプ]** に**[両面]** を選択します。
5. **[読取り面あたりのイメージ数]** に**[1 - 自動カラー検知]** を選択します。

注記: [詳細] タブに [\[設定するイメージ\]](#) が表示され、[カラー] と [白黒] のイメージ項目が表示されます。[原稿内容の設定] タブも表示されます。

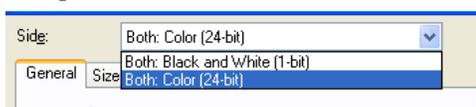


6. カラーイメージではなくグレースケールイメージを取得する場合は、次の処理を行います。
  - **[カラー (24 ビット)]** が選択されていることを確認します。
  - **[変更]** を選択してオプションのリストを表示します
  - **[グレースケール]** を選択します
7. [\[書類の設定\]](#) タブに移動します。



8. **[感度]** オプションを選択します。
9. **[イメージ]** をクリックすると、[\[イメージ設定\] ウィンドウ](#)に戻ります。

注記: **[読取り面]** オプションに、**[両面: カラー (24 ビット)]**、および **[両面: 白黒 (1 ビット)]** の2つの項目が表示されます。



10. **[読取り面: ]** で**[両面: カラー (24 ビット)]** を選択します。

## 手順

注記: [イメージ設定] ウィンドウのその他のタブと、カラーイメージ設定の設定項目を調整します。

11. **【読取り面:】**で**【両面: 白黒 (1ビット)】**を選択します。

注記: [イメージ設定] ウィンドウのその他のタブについても、白黒イメージ設定の設定項目を調整します。

12. 設定が完了したら、**【完了】**を選択してスキャナーメインウィンドウに戻り、**【保存】**を選択してショートカットの設定内容を保存します。

## 原稿の各面に対する複数イメージの作成

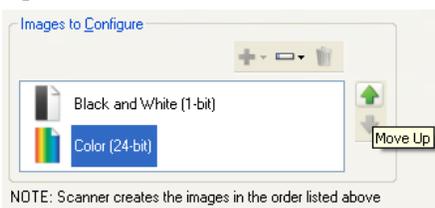
この例では、両面に情報が印刷されている原稿のスキンを想定し、原稿の各面に対してカラーと白黒イメージの両方を出力します。

1. [スキャナーメインウィンドウ](#)から、目的のイメージ出力にもっとも近い内容の**設定のショートカット**を選択します。
2. **[原稿]**を選択すると、[\[原稿設定\] ウィンドウ](#)が表示されます。
3. **[イメージ]**タブを選択します。
4. **[読取り面あたりのイメージ数]**に**[複数]**を選択します。

注記: **[詳細]**タブに [\[設定するイメージ\]](#)が表示され、**[カラー]**と**[白黒]**のイメージ項目が表示されます。

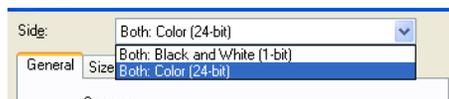


5. カラーイメージではなくグレースケールイメージを取得する場合は、次の処理を行います。
  - **[カラー (24 ビット)]**が選択されていることを確認します。
  - **[変更]**を選択してオプションのリストを表示します
  - **[グレースケール]**を選択します
6. デフォルトでは、最初にリストされたイメージ（この例では白黒）がスキャンアプリケーションに送信され、次に2番目にリストされたイメージ（この例ではカラー/グレースケール）が送信されます。カラー/グレースケールイメージを先に生成して送信したい場合、次の手順に従います。
  - **[カラー (24 ビット)]**が選択されていることを確認します。
  - **[上に移動]**を選択して、カラー/グレースケールイメージを先にリストにセットします。



7. **[イメージ]**をクリックすると、[\[イメージ設定\] ウィンドウ](#)に戻ります。

注記: **[読取り面]** オプションに、**[両面: カラー (24 ビット)]**、および **[両面: 白黒 (1 ビット)]** の2つの項目が表示されます。



8. **[読取り面:]**で**[両面: カラー (24 ビット)]**を選択します。
 

注記: [\[イメージ設定\] ウィンドウ](#)のその他のタブと、カラーイメージ設定の設定項目を調整します。
9. **[読取り面:]**で**[両面: 白黒 (1 ビット)]**を選択します。

## 手順

注記: [イメージ設定] ウィンドウのその他のタブについても、白黒イメージ設定の設定項目を調整します。

10. 設定が完了したら、**[完了]** を選択してスキャナーメインウィンドウに戻り、**[保存]** を選択してショートカットの設定内容を保存します。

## 原稿の各面に対する異なる設定の作成

この例では、表面カラー、裏面白黒で原稿をスキャンする設定を行います。

注記: この手順は、デュプレックススキャナーのみを対象としています。

1. [原稿設定] ウィンドウを開いていない場合は、次の手順で設定します。
  - [スキャナーメインウィンドウ](#)から、目的のイメージ出力にもっとも近い内容の[設定のショートカット](#)を選択します。
  - **[原稿]**を選択すると、[\[原稿設定\] ウィンドウ](#)が表示されます。
2. **[イメージ]** タブを選択します
3. **[入力ドキュメントのタイプ]** に**[両面]** を選択します。
4. **[読取り面ごとに設定を変更]** オプションを選択します。
5. **[読取り面あたりのイメージ数]** に**[1]** を選択します。



6. **[イメージ]** を選択すると、[\[イメージ設定\] ウィンドウ](#)が表示されます。

注記: **[読取り面]** オプションに、**[表面]** と **[裏面]** の2つの項目が表示されます。

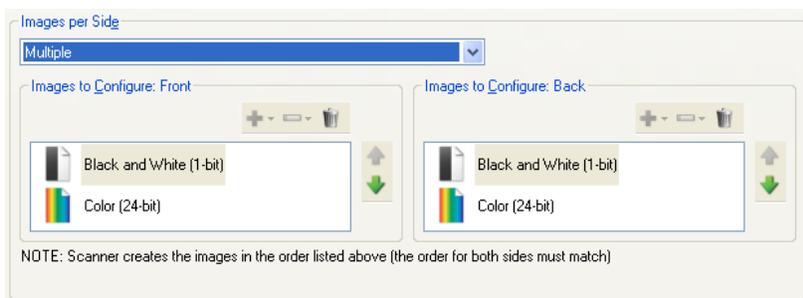


7. **[読取り面:]** で**[表面]** を選択します。
8. **[一般] タブ**の**[スキャン方法]** オプションで、**[カラー (24 ビット)]** を選択します。
 

注記: [\[イメージ設定\] ウィンドウ](#)のその他のタブについても、表面の設定項目を調整します。
9. **[読取り面:]** で**[裏面]** を選択します。
10. **[一般] タブ**の**[スキャン方法]** オプションで、**[白黒 (1 ビット)]** を選択します。
 

注記: [\[イメージ設定\] ウィンドウ](#)のその他のタブについても、裏面の設定項目を調整します。
11. 設定が完了したら、**[完了]** を選択してスキャナーメインウィンドウに戻り、**[保存]** を選択してショートカットの設定内容を保存します。

注記: 手順4で**[読取り面あたりのイメージ数: 1]**以外のオプションを選択している場合にのみ、2つの**[設定するイメージ]** オプショングループを使用できます。その場合は、ドキュメントの表裏各面のイメージを個別にセットアップすることができます。



### オンライン技術サポート

ソフトウェアのアップグレードまたはマニュアルを含むオンライン技術サポートについては、  
<http://www.alarisworld.com/go/scanners> をご覧ください。

## 問題解決

下の表の他に、スキャナーの『ユーザーガイド』の「トラブルシューティング」の項を参照してください。

問題	解決方法
スキャナーが原稿をスキャン または給紙しない	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードが接続され、電源が入っている。</li> <li>スキャナーカバーが完全に閉じられている。</li> <li>電源が正しく入っており、スキャナーの緑のライトが点灯している。ソフトウェアでスキャンが有効になっている。</li> <li>原稿のサイズ、重さ、種類などが仕様に合っている。</li> <li>原稿がフィーダに接触するよう入力トレイ原稿のスタックの高さがスキャナーの容量内である。</li> <li>フィーダのアイテムが磨耗していないか確認している。必要であれば、部品を交換している。（一部のスキャナーモデルに適用されない）フィーダのアイテムの例には、フィードモジュール、セパレーションモジュール/ローラ、プリセパレーションパッドがある。</li> </ul> <p>また、スキャナーの電源をいったん切ってから、もう一度入れ直してみてください。</p>
画像品質が悪い、または低下する	<p>スキャナー、イメージングガイドを、必ず清潔な状態にしてください。スキャナーの『ユーザーガイド』の「メンテナンス」の項を参照してください。</p>
原稿が紙詰まりする	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出力トレイとガイドがスキャンする原稿の長さや幅に合わせて調節されている。</li> <li>紙詰まりした原稿が用紙送り領域からすべて取り除かれている。</li> <li>原稿のサイズ、重さ、種類などが仕様に合っている。</li> <li>ホッチキスやクリップがすべて原稿から取り除かれている。</li> <li>フィーダのアイテムが清潔で適切に設置されている。（一部のスキャナーモデルに適用されない）フィーダのアイテムの例には、フィードモジュール、セパレーションモジュール/ローラ、プリセパレーションパッドがある。</li> <li>搬送ローラが汚れていない。</li> <li>イメージングガイドが汚れていない。</li> </ul>
「誤った」紙詰まりエラーが発生する	<p>搬送部が汚れていないことを確認します。</p>
スキャン中に原稿が斜めになる	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>給紙に合わせて原稿のサイドガイドが調節されている。</li> <li>原稿がフィードモジュールに対して垂直に給紙されている。</li> </ul>

	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 原稿が入力トレイの中央に給紙されている。</li> <li>● ホッチキスやクリップがすべて原稿から取り除かれている。</li> <li>● フィーダのアイテムが清潔で適切に設置されている。 （一部のスキャナーモデルに適用されない）フィーダのアイテムの例には、フィードモジュール、セパレーションモジュール/ローラ、プリセパレーションパッドがある。</li> <li>● スキャナーカバーが正しく閉じられている。</li> </ul>
<p>原稿が重送される</p>	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● すべての原稿の先端が入力トレイで中央に配置されているため、各原稿がフィーダに接触するようになっている。</li> <li>● フィーダのアイテムが清潔で磨耗していない。（一部のスキャナーモデルに適用されない）フィーダのアイテムの例には、フィードモジュール、セパレーションモジュール/ローラ、プリセパレーションパッドがある。</li> <li>● 特殊な質感または表面の原稿は手動給紙している。</li> </ul>
<p>スキャナーから予期しないエラーが表示される</p>	<p>このエラーはほとんど発生しませんが、発生した場合は次の操作を実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スキャナーの電源を切る</li> <li>● PCを再起動する</li> <li>● スキャナーの電源を入れる</li> <li>● もう一度実行する</li> </ul> <p>それでも問題が解決されない場合は、サービスセンターに連絡してください。</p>

## カラーの自動検知

カラーの自動検知機能により、原稿のカラーの内容に応じて、必要な場合にのみカラー/グレースケールイメージを簡単にスキャンできます。この機能を活用すれば、原稿の準備時間や、ストレージの占有量を減らすことができます。

**[色量]** および **[カラーズレッシュョルド]** に設定された値に基づいて、現在のスキャナーのイメージストリーム（白黒）が自動的に別のイメージストリーム（カラー/グレースケール）に変更されます。原稿をスキャンして、カラーの内容に基づいて判断されます。

自動カラー検知機能を使用する場合は、**[詳細]** タブから **[1 - 自動カラー検知]** を選択します。

### 白黒イメージ

白黒のみに基づいて値が割り当てられたピクセルで構成される電子イメージを参照してください。ピクセルには1ビットで0か1のどちらかの値が割り当てられるため、二階調イメージと呼ばれることもあります。0と1は、それぞれ黒と白を表します。

### カラーイメージ

幅広い色合いに基づいて値が割り当てられたピクセルで構成される電子イメージを参照してください。各ピクセルには、8ビットの赤色値、8ビットの緑色値、8ビットの青色値の合計24ビットの値が割り当てられるため、24ビットカラーと呼ばれることもあります。それぞれの色（赤、緑、青）には、0～255の値が割り当てられます。

## 圧縮

スキャンしたイメージのバイト数を減らし、保存容量や伝送時間を節約することができます。圧縮には、限定符号化方式を使用した特殊なアルゴリズムが用いられています。

## クロッピング

イメージ中の目的の部分をキャプチャするために使われるテクニック。原稿データのすべてを保存せずに、原稿全体をスキャンすることができます。クロッピングを利用するには、[イメージ設定 - \[サイズ\] タブ](#)にある **[自動検知/傾き補正]** または **[自動検知]** オプションを使用します。

### デュアルストリーム出力

片面に2つのイメージを生成するスキャナー設定です。デュアルストリームでは、白黒とカラー、または白黒とグレースケールのイメージを生成することができます。

### グレースケールイメージ

グレイの幅広い色合いに基づいて値が割り当てられたピクセルで構成される電子イメージを参照してください。各ピクセルには 8 ビットで 0～255 の値が割り当てられるため、8 ビットグレースケールと呼ばれることもあります。値 0 がもっとも暗く、値 255 がもっとも明るくなります。

### イメージ処理

スキャン対象の原稿から電子イメージを作成するスキャナーの機能を参照してください。デフォルトでは、スキャナーは最良の電子イメージを作成するよう設定されています。たとえば、原稿のサイズを測定し、まっすぐ給紙されなかった原稿の傾きを自動的に修正します。また、品質の不良な原稿を改善します。

## JPEG

「*Joint Photographic Editor Group*」の省略形。スキャナー、デジタルカメラ、およびアプリケーションソフトウェアで幅広く使われている、カラー/グレースケールイメージを圧縮するための標準規格で、開発したグループ名にちなんで名付けられました。Microsoft Windows ベースのシステムでよく見られる .jpg ファイルは、この規格で圧縮されたファイルです。

## 重送

複数の原稿が同時にスキャンされている状態です。ホッチキス、静電気、原稿の重なり、ポストイット、封筒、原稿が正しく揃えられていないなど、原稿の品質が低い場合に重送が発生します。重送検知機能を利用すれば、重送の発生時にその旨を通知することができます。

### シングルストリーム

片面あたり 1 つの電子イメージを生成するスキャナー設定です。この電子イメージは、白黒、カラー、またはグレースケールになります。

## TIFF

「*Tagged Image File Format*」の省略形です。TIFFは主に白黒イメージに使われる、標準ファイル形式です。イメージファイルサイズを減らすために、一般的に TIFF は **CCITT Group IV** 圧縮規格とともに用いられます。カラーやグレースケールイメージをこの形式で保存することもできますが、その場合あまり圧縮されず、ファイルサイズが大きくなってしまいます。





